京城日報
一月二十七日夕刊（朝夕併せて八頁）

定價 一箇月金五拾錢
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社

時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

◇國葬公布

廿七日午前十一時勅令第九號を以て大勳位李太王殿下薨去に就き特に國葬を行ふ旨公布されたり（東京至急報）

◇聖慮優渥 感激に堪へず

＝長谷川總督談＝

李太王殿下薨去に就き思召しを以て國葬儀仰せ出されたるは聖慮の優渥なる洵に感激に堪へざる所にして李王家の御光榮は素より故殿下にかせられても定めて御滿足の事なる可しと拜察す抑も國葬儀は重大なる國家の儀禮なるは云ふ迄も無く維新以來皇族の薨去あらせられたるもの十三方を數へ奉る中に國葬に依らせられたるは有栖川兩宮、小松宮、北白川宮各殿下の御四方に在はすやに承はる人臣にして此の光榮に浴したる者は伊藤、三條、毛利、島津等の諸公に過ぎず國家と共に不朽の勳績あるものにして始めて此の榮典を賜はるを例とす、素より李太王殿下に於かせられては英明達識世界にも名聲聞えさせられたる御方にて著しき御功勳あらせられたるを以て特に有難き思召を以て此優渥なる御儀仰出されたる事と拜察す洵に恐懼の至りにして殊に朝鮮の上下は此叡慮の深遠なるに感佩し奉り哀弔敬悼其心を以て此間に處せざる可らざるは固より其ところなり（東京至急電報）

◇獨國勢恢復計畫 波蘭小露占有底意

倫敦來電＝獨逸は波蘭共和國の存立に對し強硬なる反對を爲すに決せるが此の目的の爲めには如何なる手段をも辭せざるべく即ち露國過激派に武器を供給して波蘭と戰はしむるの策を執らんと意氣込みつつあるが之明かに獨逸國民の心底を語るものにして假令ライン左岸を失ふとも今後國勢發展上最も必要なる波蘭及び小露を占有せば將來に於ける獨逸の地位を恢復するを易々たるものなるべしと信じ居るが如し而して此秘密に對しては既に各政黨も一致しヒンデンブルグ元帥が波蘭侵入軍を指揮せんとすとの報道も亦此間の消息を語るものと察せらる（東京特電）

◇國際聯盟と日英同盟

紐育サン紙倫敦特派員の報に曰く日本は國際聯盟の成立と共に日英同盟の終りを告ぐ可きを憂ひつゝあり日本は日英同盟の繼續を熱心希望し日本講和委員は本問題に關し英國ロイドジョージ氏米國大統領等と會見せり（紐育電報）

◇潜航艇使用禁止

廿五日の講和會議に附議さる可き國際聯盟案は潜航艇を戰爭用として使用する事を一切禁止し國際聯盟加入國は皆其所有潜航艇を破壞する事を規定せる項目を含めり（巴里電報）

◇守備隊帝政宣明

リスボン（葡國首府）守備隊の大部分は王黨に加入し帝政を宣明せり（紐育電報）

▲備考　葡萄牙は第十二世紀以來の獨立國、千九百十一年迄は君主制を持し同年十月五日革命の結果共和制を宣示す、大統領は兩院之を選舉し任期四年再選の權能無し

◇リスボン秩序維持

米所來電＝葡萄牙公報に曰くリスボン市中は平穩なり政府は各々軍隊の秩序維持に努め軍隊水兵等官等は政府を擁護し居れり政府は叛亂に對しオポルト港の封鎖を敢命せり（東京特電）

◇サゾノフ露都占領提言

サゾノフは熱辯を振ひ露西亞の爲め聯合國の援助を求め人道の爲めペトログラードを占領せよと提言せり（巴里電報）

◇トロツキー捕縛說

トロツキーはナルバにて捕縛されたりとの說あり（倫敦電報）

▲ナルバは北露波羅的海に注ぐナルバ河の下流にあり彼得大帝がカール十二世に破られし古戰場なり

◇食糧救濟費可決

米國上院は歐洲及び近東に於ける食糧救濟の爲め一億弗の支出を計上せる下院の議案を可決せり（華盛頓電報）

◇鐵道借欵契約期

吉會高徐、濟順鐵道借欵本契約交渉は未だ開始されず該鐵道督辦に任ぜられたる補鞏氏は吉長鐵道局長を兼任する事となり北京事務引繼ぎの爲め一日長春に赴く可く同人歸京の上交渉開始の事となる可し尚鐵道工事は吉長鐵道は滿鐵にて引受け高徐、濟順兩鐵道は東亞興業にて引受くる事となる可しと（北京特電）

◇關稅剩餘金交附

關稅剩餘金千百萬元の中五百萬元は二十五日日本の斡旋に依り上海にて交附されたり（北京特電）

◇凱旋兵論功行賞

南洋及び地中海に活動したる帝國海軍の大部分は其任務を終へ續々凱旋しつゝあるが我海軍省に於ては之等凱旋將卒に對し論功行賞を爲すべく先般來各艦隊司令部に向て夫々調査しつゝありしが既に大部分は調査を終へ本省に報告したるを以て全部凱旋の上正式論功行賞あるべく又陸軍省に於ては西伯利に出征せし軍隊中豫後備兵は先日凱旋したる第十二師團所屬兵を始めとし追々歸還すべき將卒に對し軍司令部の凱旋を期して論功行賞を爲すべく目下調査を爲しつゝあり（東京特電）

◇新聞通信社長恩典 憲法發布記念に際し

來る二月十一日は憲法發布三十年記念當日に就き曩より國務大臣樞密顧問官兩院議員其他に對し記念盃を賜る由は既報の如くなるが尚ほ我國憲法政治に直接間接貢獻したる新聞社及び通信社の社長又は主筆にして二十五年以上（議員叙勳の例に依る）の勤續者に對しても恩典に浴せしめらるゝこととなるべし（東京特電）

◇國葬費通過

國葬費豫算案並に哀弔決議文は廿七日午前十時五十分貴族院を通過せり（東京至急報）

◇總督出發

長谷川總督は廿七日午前八時半發歸鮮、大島兩副官、神田秘書官等を隨へ東京驛發歸鮮の途に就けり驛には伊藤式部次長、宇佐美、鈴木兩局長、原田朝郵專務、三島殖銀頭取、木村鮮銀理事、更田代議士等多數の見送りありたり（東京特電）

◇尾崎氏外遊說

尾崎行雄氏は選擧法改正案に就き黨議と容れざる普通選擧論を主張し終に脫黨說さへ傳へられたる假令右の噂實現すとするも本期議會中には脫黨するが如き事無かる可く尚氏は近く外遊す可しとの說あり（東京特電）

◎政務總監訓示

地方行政講習會に於ける

別項二十七日總督府に於て開會せる地方行政講習會開會式に於て山縣政務總監の爲せる訓示左の如し

今日より第七回の地方行政講習會を開くことゝなり會期は僅二週間に過ぎぬが此の間諸君の勉强に依りて大いに得る所があらうと思ふ諸君は常に地方の實務に鞅掌され素より修養研鑽を怠らぬことゝ思はれるが總督府の大體方針を克く諒得して常に地方の事務に膺ると云ふことが最も必要であると我々も同じことであるが諸君の中には併合以來七八年常に其地の事務に當つて居らるゝ方も寡くないと思ふ素より永く居るから頭が古びて來るといふ譯ではない只今も申す通り常に修養研鑽といふことは必要であるから之は皆怠らずに行つて居ることゝ思ふけれども何分他の刺戟を受けぬが爲に或は安んずると云ふことがある例へば內地に比すれば朝鮮は交通不便の爲に常に往來も頻繁ならず行ふ人も寡ないと云ふやうな譯で其の土地に居れば其土地で自分一人が偉い者の如くに思ふ考へが起らぬとも限らぬ夫れ故其の邊は平常能く注意しなければ朝鮮の開發を行つて行けぬと思ふ諸君は此の僅な二週間に於て充分勉强して之に疑ひの存する所は此の際質し亦自ら斯う云ふ事は其の土地特種の事情であるから上司に陳述して見たいと云ふやうなことがあれば此の際打明けて充分夫等のことも陳べられたらよからうと思ふ自分達は進んで地方の事情を聽きたい充分其の邊の事に注意せられて各講師の述べらるゝ所も能く頭に入れさうして諸君の上下一致來益々朝鮮の發展に盡力して貰ひたい何卒充分勉强あらん事を希望する

◎西伯利の皇軍

西伯利亞鐵道の管理は急務

白川陸軍中將視察談

西伯利出張中の中將に陪從して陸軍省人事局長より士官學校長に榮轉したる白川義則氏は二十七日朝入城したるがその談に曰く大連を經て奉天長春ハルビンに到着しハバロフスク、チタ方面を巡視して來た

▲撤兵期奈何　吾が西伯利出征軍の撤退を何れの日に實行するかは、吾輩の全く關知せざる所である、然し乍ら現況より見て撤兵の時期如何を問はるれば尚ほ早急に引揚ぐべきでない、若し吾が兵が撤退して了つたら西伯利の狀態は非常の混亂を呈するであらう、要所々々に日本の駐屯軍がゐても陸軍省で公表するやうに過激派殘黨の各所に頭をもたぐる事は絕えぬのである、オムスクの全露政府もいつ倒れるか不明のやうだが、要するに西伯利の秩序維持が出來なければ撤兵期來れりとは云ひ難いであらう、昨今露人の皇軍に信頼せる狀態は予等の走馬燈的旅行眼にも明かに快よく寫る、還同の豫後備兵の凱旋は約三分の一內外の兵員であらうが、その撤退も露人は心配の眼を以て眺めてゐた、然し豫後備兵を引揚げても一箇所の駐屯を減じたのであつて吾が派遣の駐屯箇所を少くした譯ではない

▲鐵道管理急務　一日も此儘に捨て置けないと思はるゝのは西伯利に於ける各鐵道の狀態である、現在の如く車輛も機關車も線路も使ひつ放しで手を加へると云ふ事を全くしないではその輸送力は減滅して終ふ、今後半箇年も今の儘に放棄して置けば各鐵道共殆んど殘骸に均しきものとなるであらう、西伯利鐵道の列強管理は刻下焦眉の急要問題である、殊に中央の世界の問題となつた西伯利鐵道管理案が、その如何なる形式と內容の下に現はれて來るかと云ふ事は外交上に屬するから予輩の喙を容れる限りでないがその管理實現は出來得る限り早からん事を望まざるを得ぬ

▲軍紀嚴肅　各鐵道がその機能の發揮を十分になし能はぬ關係上沿線各地に對する物資の供給も滿足に行かぬ譯であるが、然し乍ら駐屯各隊の軍需品は殆んど遺憾なく行き渡つてゐる、又各地駐屯隊は軍紀嚴肅、秋毫も紊るゝ所なく酷寒の中に拘らず尚ほ屋內若くは屋外に於て一日に一時間以上の練兵を續行してゐる、予の巡歷中最も酷寒は零下四十五度に下つたが防寒服装十分なるため兵には別に凍傷者を出すやうの事もないらしい、唯過日陸軍で發表したやうに過激派殘黨の襲撃に逢つたアレキセーフスク守備隊の兵士に凍死凍傷者を若干出したと云ふのは知らずく無理も出るためであつて斯樣なのは當例となし難い、又地方に於ける物資の缺乏は非常のものであるけれど、鐵道が滅茶の狀態では思ふやうに吾が援助事業も大規模で掛つた所で捗り難いかに思はる。

▲不穩の地方　各地の過激派は目下の所吾が兵の駐屯せる爲め大體は靜かであるが稍不穩なのはブラゴエ方面の北岸である、アムールの支流地方の民家や山中には未だ可なりに敵がゐるらしい、予のブラゴエに入りし際の如き今にも過激派の來襲ある如く諸言流布の狀態であつた、皇軍はコサツクの頭領がモウなどゝ策應して討伐をやらうと云ふやうな計畫もあるやうだつたが、仲々土地は廣いし思ふやうに行かぬ

南北妥協前途

柿內滙業銀行專務談

二十七日朝入京せる柿內滙業銀行專務の談に曰く滿蒙四鐵道借欵

▲本契約調印　のため興業銀行佐藤理事は予の北京を出發する數日前到着交涉に取り掛れるも結局本契約の調印は出來すべきが多少の曲折を經ざるべからずその時期は少くも二三箇月先ならん、政府の對支借欵打切りは滙業銀行にても差向き影響を受けたり乃ち鮮銀、興銀、臺銀三行と福建省間に於ける事業借欵三百萬圓は滙業銀行の仲介にて既に前渡金の交附を濟まし本契約を調印するのみの順序となり居りし所政府の新方針にて三銀行は資金の支出を拒む事となり結局打切らざる可からざるに至れるがその善後策には少からず面倒を惹起したり更に吾が

▲對支借欵　の打切りは南北妥協の促進上止むを得ざるに出でしこの事なるもさて大局より觀て殊に帝國の占むべき支那に對する特殊の地位より見て果して有利なるかは疑問なるべし吾が投資の手控へは米國資本の進出を意味せずや又刻下の問題たる南北妥協は北方に於て大なる讓步をなすべく會議地の如き上海說に傾き居りしを以て恐らく和議の條件は南北の讓步—殊に北方の讓步により一致點を見出すならん然もその妥協後久しからずして分立を見る如き事なきか更に對峙をなすに非ざるか等の問題は今日より

▲俄に然りと斷ずる能はざるも又否認し難し、何となれば和議成立するも和讓せざる可からざるに至りて和するに非ず餘儀なく列强の力により水と油を合する如きものなればなりその和議も支那の事とて曲折を重ぬべく少くも六七箇月を要するならん

◎地方行政講習會

第七回地方行政講習會は二十七日より二月四日迄向ふ十一日間毎日午前九時より午後四時迄總督府第二會議室に於て開會のことゝなるが廿七日は午前十時より開會式舉行學務局長其の他各關係職員出席別項政務總監の訓示あり次いで講習員總代の答辭あり直に日程に入り午前中は地方行政午後は水産事に關する講習あり同四時閉會せるが講習員は約八十名なり

◎期米益々强硬

三十六圓五十錢突破

仁川期米の二十七日前場は正米高を材料とする硬派の買氣熾烈と米禁輸の如き事現無根の事判れ再び相場益々强硬を呈し先限寄附三十六圓三十五錢安値二十九錢高値五十六錢と奔騰新値を現はし五十四錢と强硬に打止めたるが內地は阪、堂場の頭打ちに比し仁川の騰騰は稀有の例なり

◎水路告示

朝鮮、海岸津端附近に於て障碍物を發見したるに依り其筋にては之に關する水路告示を爲したるが位置は左の如し

廣州端北東方北緯三十七度二十八分三十一秒東經百廿六度十一分四十一秒

◎サモワール會

露語研究機關たる京城サモワール會は現在會員百名を越えんとする有樣なるより今回其の規模を擴張し本會の事業及び役員規定等に就き二十六日午後五時より水標橋通り第一樓に發起人會を催し顧問、名譽會長、會長、贊助員等に關して協議を遂げ幹事長及び幹事十一名を選定し幹事長に大村商業會議所書記長を當任し幹事に小田榮氏を推薦して事業の協議に入り同會附屬の露語講習會を近く開く事、對露貿易者の相談相手になる事、西伯利及び北滿洲、事情調査並に露國に關する各種の受託をなす事等主なる事項を決議し尚ほ陽曆四月上旬發會式舉行の件を議決せり當夜は最近西伯利より歸城せし本社特派從軍記者川已之利氏の視察談及び最近西伯利地方情況調査に出發すべき松原榮氏の送別を兼たるより盛會なりき因に入會希望者は假事務所京城永樂町榮正行或は京城商業會議所內大村友之丞又は京城日報社編輯局內奧田直毅の何れにか申し込むべし

◎京畿葉莨持越

京畿道管內に於ける大正七年八月一日現在調査に係る持越葉煙草の數量其他狀況を聞くに煙草耕作者の分は在來種に在りては人員五千八百八十五名數量八千九十五貫此の見込價格七千八百十七圓內地種に在りては人員二名數量二十一貫見込價格二十一圓計人員五千八百八十七名數量八千百十六貫此の見込價格七千八百八十八圓を算せり煙草製造者の分にありては在來種內地種及び外國種計人員十六、數量七千四百四貫此の見込價格百十五萬九千七百五十五圓を示し煙草販賣者の分は前記三種合計人員三百十名數量四十四萬六千六百五十貫此の見込價六十五萬八千六百四十一圓總計京畿道管內に於ける葉煙草持越狀況は在來種內地種及び外國種の耕作者の分製造者の分及び販賣者の分を總括して人員六千二百十三名數量百五十二萬六千百七十七貫此の見込價格百八十二萬六千二百八十六圓を示せり

◎製糖會社支店認可

藤山雷太氏より豫て申請中なりし各種砂糖酒精及び骨炭の製造販賣竝に甜菜の栽培購入牧畜運輸等を目的とする大日本製糖株式會社の支店を平南大同郡に設立の件は一月廿四日附許可の指令ありたり

◎チエツク相消息

チエツク陸軍大臣ステファニック少將は愈々朝鮮經由內地に向ふ旨通知ありたるも二十七日午前十時廿防著電に依れば同少將は一月二十四日朝又は夜西伯利より哈爾賓著の京奉線にて上海に向へる由にて朝鮮を通過せざる事となれりと

◎白川中將訪府

二十七日朝入城せし白川中將は同日總督府に出頭し山縣政務總監及び村田武官を訪ひ入京の挨拶を爲せり

◎大野參謀長歸期

憲兵隊長會議の爲め東上中の大野軍參謀長は來る二十九日午前九時十分龍山驛著列車にて歸任すべしと

◎宇佐美長官出發

宇佐美總督府內務部長官は廿七日午後七時東京發歸任の途に就くべし（東京特電）

◎柿內滙銀專務去來

滙業銀行專務柿內常次郎氏は北京より東上の途二十七日朝入城朝鮮銀行その他へ訪問の上午後七時五十分發列車にて出發す

人事

▲室賀正輔氏（常盤生命滿鮮支部長）廿六日夜來城

▲韓相龍氏（漢城銀行專務）東上中の處二十六日夜歸任

八面鋒

◆議會に於て原首相も、內田外相も、支那南北和平は、漸次良好に進行しつゝありと、演說をなし居れるが、成る程今迄は、曲りなりにも先づ半ば良好に進行し來れり、然れども悠長は彼の國の特長也、南北代表委員漸く上海に著し、愈第一回の顏合せは、二月十五日の豫定なりと聞く、尚ほ多少の曲折を見ずして、果して良行に進行するや否。

◆南方の孫洪伊君は、『南北和議の先決問題として、段、倪、張、徐等の兵權を解除し、國法に由つて徹底すべし。而して全國の兵數を二十師となし、二師を以て北京を拱衛し、大省は一師、小省は一旅に限局せよ』と主張す、南方としては當然也。

◆然るに北京政府に於ては、現在の四十師を六十師となすの計畫なり、孫君が北方に誠意なしと叫ぶも亦無理なきに非ず。和議に尚ほ多く曲折の存するは、即ち斯る間隙の蟠まるあり。各省兵力限定は內亂を止むべき有効なる方法なれども、區々の懲辨問題に至りては、其の聲を聞く丈けにても忽ち大目玉を剝くべし。支那にては之れが國際聯盟よりも、より大なる問題也。

◆板垣伯陞爵の內意を聞くや、斷然拜辭し「受けず」と云ふ。伯は我が一代華族制を强て主張するの人也。其の主張に對しても、必ず拜辭せざるべからず、其行爲は敢て珍とするに足らざる也。

◆帝國軍艦聯合艦隊と共に、土都君府に乘り込みし際、元來帝國は土國に宣戰こそせざれ、敵對行爲をなし居たるが故に、餘り歡迎されざるべしとは、何人も豫想したる處なるが、事實は全く之れに反して、盛んなる歡迎を受け、日本軍人の持て方は、非常なりしと云ふ。是れ即ち全く帝國々威の宣揚にして、旭旗の翻る處、排威凜然、寒風駭盪の觀に痛快事の極たり。

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

本店 京城南大門通

支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、安東縣、奉天、濟南、青島、長春、開原、四平街、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、大連、上海、天津

出張所 營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

朝鮮學術研究會編

中學校 商業學校 女學校 高等普通學校 入學試驗問題集 答案

大正七年度 四六版二百餘頁 定價金五十錢 送料四錢

入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ

發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂

發行所 京城本町 ウツボヤ書店

御使用先

朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍

龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫

京城印刷所新築工場 京城本町五丁目

金網入硝子・磨板硝子・摺板硝子

縞板硝子・雲板硝子・雪板硝子

京城府南大門通五丁目 協同組商業部 電話長一四三番 一七六九番

兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社

開業創立明治二十八年

各時計 蓄音器 卸商

貴金屬製作卸所

京城黃金町二丁目 喜多金光堂 振替京城七八二 電話一〇一五

長谷川時雨女史著 新刊發賣

情熱の女

中判美本四百八十頁 定價壹圓廿錢 送料八錢

己が情熱の炎の焰に自ら燒け亡びて仕舞つた芝居の女達に對し女史の奏でた哀しい挽歌である。所謂作者の書いたのとは全く別の方面から窺した美しい情話である、收むる所淸瀧、お七、お半、お駒小浪、お光、お輕、梅川、お富、深雪、若葉の內侍の十一人で一々佐藤三重三氏の畫が挿んである。

東京市芝公園 振替東京一四一七七 玄文社

田中貢太郎氏著

切支丹屋敷

三版出來

軍隊拂下大安賣

茶褐外套、毛布、冬襦袢、冬茶褐小倉服、ジヤケツ、軍帽、靴下、雨合羽、アイボーシャツ袴下、石持別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候

龍山元町二丁目 川本衣服店 電話五六、振替口座一五六九

○哀み新たなる入棺式

靈柩を殯殿に奉遷す

德壽宮咸寧殿に於ては廿六日午後一時より大斂及び大斂奠の儀を執り行ひ午後七時より奉下梓宮の式を執り行はせられたり近親・殿下著座し續いて御親戚たる族御近側者李王職高等官等式場に參入するや太王殿下の御靈骸は靈柩に移さる。此時喪主殿下を初め參列の者共哀別の涙を絞り更らに靈柩は咸寧殿內に設けられたる殯殿に移御さる。斯て最後の哀別に咸寧殿內には切々たる哀音哭聲を聞くのみなりしが十時三十分に至りて滯りなく式は終へたり

▼麻づくめの祭服姿で 盛大なる成服奠御擧行

德壽宮に於ては午後二時十分より成服及び成服奠の儀を執り行はせられたるが當日は喪主殿下を始め御親戚、御近側者李王職等正式喪を服し各自麻の喪服に著換へ麻の屈冠を著け、麻杖を持ちて式場に參入し無資格者は式場外に在りて二時廿分式の了ふるまで哀哭を續けたり

▼宮門前人で埋まる 妓生三百喪服姿で敬弔

廿六日德壽宮に於ては成服及び成服奠の儀を行はせられた前夜李太王殿下の御靈柩は既に殯殿に移され再び御靈骸に接するとが出來ない爲めに今日の成服奠の儀は哀痛極まりなき式であつた正午十二時には宮內俥寄せには處狹きまでに俥馬を以て埋まり內鮮紳士識るが如く集り來た大漢門前の敬弔者は實に數萬に上り警衛に任ぜし巡査騎馬巡査等聲を嗄らして制すれども群衆は道路を埋めて犇めき合ひ慟哭の聲に德壽宮は更に愁ひの底に沈められた中にも喪服を著けた京城府大正、漢南、漢城の各券番妓生連が入れ交りに宮門に訪れて弔意を表して行つたのが衆目を惹いた

○各宮家御見舞

太王殿下薨去に付廿六日有栖川宮外十一宮家(梨本宮家を除く)より左記の通り喪中御見舞品御贈進相成りたり

各殿下へ御贈進

李王同妃兩殿下へ
一、御菓子 一折宛
一、御料理 御棺前詰へ被下

王世子殿下へ
一、御菓子 一折宛

李堈公殿下へ
一、御菓子 一折

李鍝公殿下へ
一、御菓子 一折

右に付李王同妃兩殿下王世子殿下李鍝公李堈公殿下は直ちに御謝辭を發せられたり

寫眞說明

(右)成服式當日大漢門前の群集(左)成服式に參列せんとする有資格者

▼面倒な墓地撰定 然し今度は世話は無い

朝鮮の冠婚葬祭の四大禮は總て周禮に據るもので王や王妃が薨去すれば遺骸には新衣を著して棺に納める、其棺は生前既に造つて置いて東大門外なる長生殿に藏し年毎に幾度か漆を塗り漆の濃い程

▽長壽の方 として祝ふのである、扨て遺骸を納めた棺は一定の時日殯殿に安置し、墓地は風水火の說に據つて地相官が之を定む墓地の地形に就いては山といふ條件は厳として動かされない、山も四山と稱して墓地の左右並に

▽前方に山 を望む地ちし一面に白虎、朱雀、玄武の相をしたものでなくてはならぬ、土饅頭の周圍は石の欄干で築き上げ、その前方に大石を四つの石柱で支た壇を設け左右には一つ宛武人文人の像を建て周圍には必ず多くの

▽樹木を植 る、然し李太王殿下の御陵所は既報の如く殿下御生前に撰定になり封陵として準備せられてある楊州郡の金谷に決定したから少しも面倒はない

○商民奉悼團

御靈柩擔ぎの慣例 朝鮮では古來の慣例として王が薨去の場合に其靈柩擔ぎを鍾路各廛商店より出したものであるが今回の太王殿下薨去に就ても此慣例を守り考へにて鍾路の織物、古物商、與賣の各組合及び十五の團體は鳩首協議の結果京城商民奉悼團を組織して御靈柩擔ぎ並に國葬參列等準備おさおさ怠りないと

○喪服商繁忙

朝鮮では舊慣上王の薨去の場合は人民一同は喪服の意味に於て一年若くは三年間濃厚な色彩を排けて衣類から冠及び靴に至る迄白裝束さなくば淡い色とするのであるが今日では既に時代が變つて居るので其處迄必要はないそれでも李王職其他宮中奉仕の下僚に至る迄喪服を著けるので自然此種の裝束注文が多くなつて來て各商店では徹夜で作つて居ると

◇金谷里御墓所

○閔妃御葬儀の思出

大轝の紼は數萬の人に引かれ……丁字閣にて御指揮ありし故殿下

滿鐵京城管理局社員 林田虎雄氏談

太王殿下の國葬に就て思ひ出されるのは明治三十年十月陵墓清凉里に於て執行された彼の閔妃の御葬儀であつた、私は當時京城で發行した漢城旬報記者として當時の公使加藤(增夫)日置書記官秋月領事等と御葬儀に參列し御模樣を親しく拜した經驗を有つて居る、日は[illegible]

▽閔妃の大轝 が今の德壽宮(當時慶運宮)を出たのが其日の黎明で私は內地人として只一人御道の正衆を望むべく宮中に詰めてゐた、故殿下には李王殿下御父子と共に麻の帽子麻服で出御あつて各國使臣高官に對し『皆さんご苦勞、後で又會ひます』とも御挨拶があつて閔妃の大轝は百名の白丁で擔ぎ夫れより引つ張る紼は四方より數萬の人が引き哀しい輓歌を唄つて動き出した、行列の順序は先づ夥しい旗差物に續いて

▽騎卒の宮女 が號泣して十二名隨ひ次に丈二間もある位の作り馬が二疋其間には小さい輿が在つてそして其列の外部には鐵に紗を張つた提灯が一萬二三千對白丁に持たれて續いた行列の長さは延々として殆ど盡る處を知らず先頭は既に清凉里葬場に着いて居るが後尾は未だ德壽宮の門を出でないと云ふ有樣でそれを衛護する部衛の兵士約一萬許りで固め[illegible]

▽御出立ちの 招宴を張つた、これは古式に則つたものである、斯くて午後四時頃故殿下御父子及び各國使臣御著し御殿外の丁字閣を假御殿として各國使臣は假小屋に入つた、其中に夕暮になつて朝鮮の文武百官丁字閣前の芝生に慟哭式を行ひ故殿下御父子及び各國使臣も其處に御泊りになつて又各國使臣には結構なる夕食の御饗應があつた、私は常に丁字閣に出入し御模樣を拜見してゐたが

▽故殿下には 御緣側に於て御自身で葬儀一切の組織命令を御命令あつて一方には侍を召して『□國公使には飯を出したか』とか『公使館のストーブは焚いてあるか』など百方に御心を用ひられ私は秘かに殿下の御聰明なるに敬服した、斯くて其夜も明けて翌朝前十時頃ち一日一晩掛つて漸く葬儀が終つて故殿下御父子も午後に至つて御歸還となつた

○大赦は鮮人にも

=及ぶであらう……具體的の事は尚不明だ

國分司法部長官談

憲法發布三十年記念當日を卜し一般政治犯に對し恩赦の大命を下したる[illegible]國分長官を訪ふ氏は語つて曰く『其事は吾々も新聞紙によつて知ると共に聖恩の宏大なるに感泣の外なかつた、而し公表のない以上政治犯と云つても範圍が廣いから一寸見當が附き兼ねる尤も

◇政治犯 の主なるものと云へば內亂罪外患罪であるが新聞紙條例の政事犯及び集會結社法違犯にも及ぶか否か無論不明である從つて今茲に具體的な話も出來ない而して此大赦の命が下らば內地人のみでなく鮮人にも及ぼさるゝ事は無論である鮮人の政事犯も色々あるが朝鮮全體を通じたら大分犯人が居るらしい』

○伊國大使館全燒

場所柄とて一時は非常の混雜

二十六日午前十一時過ぎ東京麴町區霞ヶ關の伊太利大使館より出火し見る〳〵間に本館全部に燃移りたるより直ちに警視廳自動喞筒隊其他官等驅けつけ全力を擧げて消防に努めたる結果漸く他に延燒を免れ本館建物

◇全部を燒失 して鎭火したるが同大使館には辛うじて重要書類を持出したる外器具其他全部燒有に歸せしめたり附近には[illegible]外務次官々邸等櫛比し居れるを以て一時は却々の混雜を呈したり尚ほ是が原因に就き聞く所に依れば同日午後八時より同館に於て晩餐會の催しあるに就き未だ使用せざる部屋を開きて暖爐を焚きなどしたれば或は該室より發火したるものならんと云ひ又料理人部屋の電燈スイッチより

◇漏電發火し たるものなりとも云ひ居れるが眞相未だ判明せず。當日伊太利大使は横濱なる同國人マフリ氏の葬儀に參列の爲め午前九時三十分發汽車にて同地に赴き夫人令孃は麻布教會に日曜禮拜の爲め外出し留守中なりし

◇御見舞を始 めとし內省よりの[illegible]べし而して同館災害[illegible]を以て判明せざるも數十萬圓に達し又損害は保險に加入し居らざる[illegible]舞ありたるが大使及び家族は帝國ホテルに移ることゝなるべし(東京特電)

◇全燒した伊國大使館◇

○金剛山は實に男性的な山だ

支那服の大町桂月氏下關で語る

◇酒を止めて身體の具合がよくなつた

朝鮮旅行中なりし大町桂月氏は二十四日午後六時入港の關釜連絡船で下關著同七時十分東京したが身には黑色の温か相な支那服を纏ひ元氣にて語る=私がかう

▽支那服 を著てゐると滅多に[illegible]旅行中支那服で通した[illegible]日本人だと看破されたことがない然し日本に歸ると矢張り日本人に見えますかネ』と旅行中[illegible]は東萊、金剛山、平壤、開城と名所を一つ殘さず尋ねた金剛山には一週間も立籠つて雄大なる景に親しみました、金剛山は實際男性的な山で一度は登つて見るべき價値があります滿洲は

▽旅順口 から奉天戰蹟といふ戰蹟は落ちなく見て來ました、奉天では清朝時代の大いで頗偉と云はれる三多氏と會見し文化史を談じましたがその識見卓絶大に敬服しました、旅行は成る可く徒歩主義で押し通し、服は何時もこの支那服でした、御面相が支那式に出來てゐるので見ると支那人扱にされましたのは滑稽イヤ得意としてゐます、私の

▽滿鮮觀 は何れ出版することにしてゐますが、斷片的のものは雜誌にも出そうと思つてゐます、好きな酒はもうすつかり止め旅行中も飲まずに通しました、酒を飲んでゐた時は今少し肥滿つてゐましたが飲まなくなつてからは幾分痩せました、然しその痩たのが私本來の體質で肥滿つてゐたのはホントでなかつたのです、酒を止めてからは體の具合が大分よくなりました』こさも得意氣なりき

○奢侈稅や庭園稅

將來現るべき新稅金の色々

大阪稅務監督局の某高官は語る『必ずしも多くなるべしと斷定的には云へぬが少くとも新稅と評するに足るものは[illegible]

◇庭園稅 であるこれは新稅として最も可なりで都市に於て宏壯な邸宅を構ふるのみか廣々とした庭園を持つて居る事は如何に答へても稅金を取られる價値がある次に奢侈稅で之は實行に當つて一寸困難を感ずるは外國の例に據つて國民の生活に要する著物一著の標準價格を定め夫れ以上の著物を拵へた場合呉服屋とか洋服店とかゞ稅務署に通知する稅吏は此の[illegible]

◇納稅を 告知するといふ方法を採ればいゝと思ふ問題になつて何時も貴族院で潰れてしまふ土地の雜稅は地主の多い貴族院では無闇に之を握り潰して居る[illegible]理想的の課稅だが之を實行すると云ふ所から[illegible]

◇兵役を 免除された者にも好からうし子供の無い者に課するのも策であらうと思ふ近に過般[illegible]云爲されて居たに戰時利得稅は絶對に廢止する必要はなく超過利得稅として其儘にして置くのが良策であると思ふ[illegible]は國稅は課せぬ何となれば國家は之等の營業を正業と認めぬからである』(大阪)

▲何佛上人が栖鳳伯と道で邂逅[illegible]

○舊正月に近い

太王殿下の薨去から俄かに沈滯

二月一日は恰度舊曆の元旦に當るので例年ならば昨今は鮮人側の市況は活況の頂點に達し各戶正月の準備に忙しい最中であるが李太王殿下の御薨去と共に俄に沈滯の氣分が漲り謹愼の狀が明かに觀取される鮮人側に於ても一部の者は陽曆正月に

◆◆越年 するのであるが大部分は未だ舊習を守つてゐる。從つて例年舊正月前には南大門、東大門內市場は非常に活況を呈し鍾路筋などには物貨の呼聲が喧しい位であるが其の物貨の姿も殆んど見受けられないほど淋しい。從來鮮人側の各戶に於ては

◆◆先祖 を祀る爲めに澤山の供物を買込み、且つ內地同樣に新らしい衣服類も盛んに買ふのだが今度喪服は各戶悉く謹慎の意を表して居るらしく市場に行つても反物屋を覗いて見ても一向正月前らしい景氣がない。殊に明太魚の賣行きなども激減したさうである。

旅行に付本日より約四週間休診致候 一月廿六日 松村三啓

○李太王葬儀日取

李太王殿下の御葬儀日取は[illegible]

○京都に……女子大學

[illegible]省より同女子大學設立認可を得れば東山高等女學校隣接地四千坪を位置に直に建築に着手する豫定なが[illegible]して定員を二百人とし初め三十名を募集すべく目下東山高等女學校に在學中の專攻科生を試驗して[illegible]

○郵便局の兎狩 京城郵便局にては歳末年首の繁務も昨今[illegible]四時歡興 關 なら裡に解散せりと

○連絡船上陸客 一月二十六日午前入港連絡船にて[illegible]

天氣 晴一時曇 京城今朝氣溫[illegible]

吳服屋で大成功 [illegible] 坂本商店 振替東京四二五九八番 電話九二四番

慢性りん病 [illegible] 藥劑師 淺田藥局

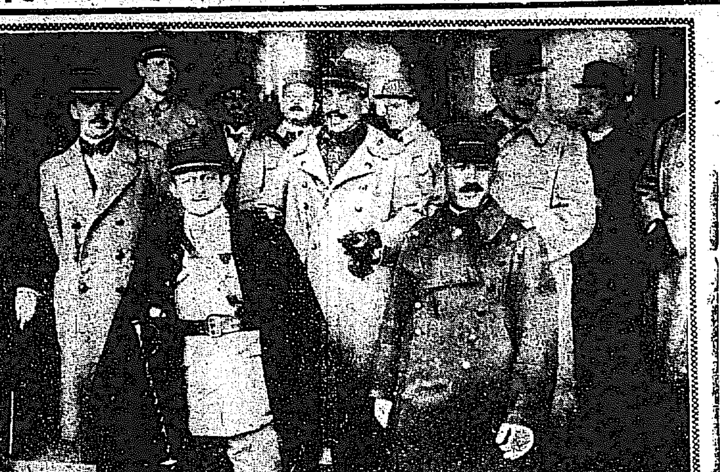
最上清酢 三矢酢造場 電話五七〇三

植山本家

▲債券▼ 關東都督府認可 公債債券月賦販賣 大連債券株式會社 大連市[illegible]

▲債券▼ 公債債券現物賣買 營業案內無代進呈

冬の風引には 大學病院携帶方劑 KAZEPIRIN カゼピリン 解熱完全劑 東京 本舖 淺野樂天堂藥局 鮮滿無痘の特約店にて販賣す



★來朝したる第二佛國飛行教官團★
佛國第二飛行教官團は團長ジヨセツト少佐以下八名去二十三日東京驛に着し陸軍大臣代理竹内、將校以下多數の出迎人があつた寫眞の左の前方から團長ジヨセツト少佐で勳藍色の軍服にインバネスを羽折つてゐたのが日本人將校は川村歩兵少佐である

◎鴨綠江の富力 目についた丈でも 五千萬圓（木材、柞蠶、大豆其他）

鮮滿國境の鴨綠江と云へば例の筏節の本場として三尺の童兒も知らぬものはない位であるがそれは主として五月より十一月初旬までに到る流筏期の壯觀を想像するに止まつて居るようで先づ十一月より翌三月の末迄に到る結氷期中の壯觀に到つては多く忘れられて居るかの觀がないでもない

◈鴨綠江 の經濟的價値が何程のものであるかは日本人にも支那人にも朝鮮人にも金錢の上に計上したものは殆んどないようであるが、ザツト算盤を取つて見ると、木材の筏となつて安東縣と新義州に流れて來るもの丈けでも二千萬圓と見て差支なからう、鴨綠江流域の柞蠶即ち山繭の產額を一千萬圓と見て大豆五六十萬石が加へられたりして一千五百萬圓、夫丈けで四千五百萬圓乃至五千萬圓を計上する事が出來る更に

◈上流行 きの貨物は開河中は例の高瀨船で逆らるゝものは例の綿布、雜貨、石油、砂糖其他一切の日用品、是れも尠くも一千萬圓もあらうか、雜穀類が高瀨船や戎克によりて上下吞吐せらるゝものは頗る多額に達するが是れ支那側の統計表によつて其の一班を推定する事は出來る、要するに安東縣と新義州は鴨綠江流域に築かれた市街であるが、此の天與の恩惠を受くる事は豫想外に存する然るに一朝

◈嚴冬將軍 の襲來を見ると戎克はソロ〳〵逃げ仕度に忙しく何れも順風を待ちて帆を張り上げて大連其他の不凍港に逃げて行く其の戎克の數は大小無慮三萬もあらうか、流氷を見る時になると筏を買込んだ木材商人等はサア一大事とあつて錢金を惜まず木材の水切作業に從事する、流石は寒國育ちの支那人苦力共、少々の寒さに辟易する樣な事は決してない、黙々として働き孜々として働いて其の體の暖れるのを喜んで居る、今年は

◈寒氣激烈 の度が遲からうと推想されたものであるが、それでも十二月の十五日からは、氷上の通過は始まつた、知らず氷の厚サ何尺ぞ、橇は人や雜穀、木材等を乘せて東西南北に馳走する其の輕快サ、安東縣から新義州まで人力車を僦して約三十分を要するが、江岸の稅關の波止場から新義州稅關波止場まで約十五分間、莨一本吸ふ間に一寸の餘裕がある程である、それに

◈風雪 の激しい日は別として風や雪のない日とあらば假令零下二十五度の極寒でも橇の上は至極暢氣なもので、快々的に馳する爽快さは一寸暖國に見られない愉快さである、現在の橇交通は主として安東新義州間、安東、中の島間で、外に下流は三浪頭邊まで下る相であるが、上流は氷上の通路が面白くなくて物資の輸送は殆んど不可能であると當業者は語つて居た、若し日暖かに風死したる日鴨綠江畔に立つて眺むれば數百十の橇の行きかひ寒國的

◈男性的 氣分を十分に發揮する事の出來る大小國民達は轉けつまろびつ、スケートの練習に餘念もなさそう、殊に本年の氷は非常に平滑である爲めにスケートするには持つて來いであるとか、近頃安東有志間に於てスケート大會を開催せんとの議も熟して居るらしいが、多分二月の二日頃であらうと云ふ、鴨綠江上の壯觀を見物旁、ちとスケート大會に參加する勇氣のある人々は揃つて安東に來るが宜しい（安東縣）

◎問題となれる 勞働者の生活狀態研究（二） 勞力需給狀況と必要なるべき措置

今平壤を中心とせる附近事業界に於ける勞働者の需要概況を記せば（婦數なき數字は見込みに依る）

兼二浦三菱製鐵所一、九五三人（職工內地人を含む）同五〇〇（日傭夫）同各鑛山七、〇〇〇 探鑛夫 兼二浦に於ける一般勞働者一、二〇〇
降湖里セメント會社 一五四（內地人）四九三（鮮人）同地 勞働者三〇〇（鮮人）
寺洞鑛業所 二、〇〇〇（鑛夫及び人夫其他）
江西無煙炭坑七〇〇〇（同）
州炭坑五〇〇 同
大平炭坑八〇〇（同）
平壤兵器製造所一、〇〇〇（職工及び人夫）附近各鑛山探鑛及運搬夫一、〇〇〇
平壤市內の各工場其他一般勞働者 約數五、〇〇〇
鎭南浦（同）三、〇〇〇

以上重なるものを列記せるのみにても平南方面に於ける勞働者（勞務に屬するものを除き）の需要約二萬七千人に達す此の外黃海道に於ける安岳載寧等の各鑛山、平安南道に於ける各鑛山並に其他各地方夫々の需要を合せば驚くべき數に達す可し殊に平壤方面に於ては各種大規模なる計畫事業の著手と共に勞働者の需要は今後益々其大を表し就中優良なる勞働者卽ち相當の訓練と節制ある職工を以て所謂勞力の充實勞働能率の增進を必要とする工業都市に於ては一層勞力の豐富を見ざるべからざるに拘らず需給の均衡を失する當地方に於ては徒らに勞銀の昂騰を來し所在に勞働者の爭奪を見るに至れるは事業界の振興を妨ぐること洵に大なるものあるを以て之が需給の圓滑を期するは刻下の急務と謂はざるべからず然るに之が需給の調節を期せんとするも近時穀價の騰貴及び副業の發展に伴ふ農家經濟の發達は一般に出稼的勞働に從事する者を減少し殊に人口稀薄なる西鮮地方に於ては急激なる需要の增大に應ずる能はざるを以て何等かの方法に依りこれが補充を行ふ必要あるは言を俟たず現に兼二浦に於ては支那勞働者を輸入使役し居れるが之には其筋の取締其他の關係ありて容易に其是非を斷ずる能はざるも需給の圓滑に資する上に於て益する事大也

◎西海岸船路振興策 仁川群山木浦鎭南浦各會議所 提携して當局者に陳情せんとす

朝鮮產業の發展を期する上に於て輸移出貿易の進展を期するの必需事項たるは言を俟たざる處なりとす而して完全なる之が發達を期せんとせば先づ輸送機關の整備は最も其の急務たる事識者の已に之を認むる處なるべし況んや現時の如く內地に於ける食糧品の不足に際して之が補給を爲し以て市價の緩和を爲すべき特種關係にある朝鮮は其の特產品の供給に當つて內地朝鮮間に於ける連絡輸送機關の缺如たる今日極度の不便を感じつゝあるの事實は決して等閑に附すべからざる問題なりと云はざるべからず固より鮮內の輸送に就ては漸く鐵道の施設其宜しきを得るとするも到底今日の旺盛なる輸移出物資に對して充分なる輸送を爲し能はざるは現時の滯貨に就いて見るも其能力を推するに難からず只朝鮮東岸に於て數隻の定期航路を有すれ共由來朝鮮の富の大分を占有する西海岸に於て一隻の定期航行を爲すものなく爲めに內地移出品の輸送に對し尠からざる不便と損失を招きつゝあるは西海岸諸港に於ける當業者の均しく恨事と爲しつゝある處なり元來此の西海岸に於ては嚢に大阪商船會社の帆船により大正四年の頃迄には數隻の運航を爲しつゝありしも時局の影響を受けて當局の補助を仰がざれば繼續し能はざるの事情に至り遂には廢航の止むなきに至りたるまゝ今日に及びしものなるが現今に於ては決して之を廢航のまゝに放置し能はざるの狀況に立ち至りたり之が就航に當つては海運の現況よりして相當國庫の補助に俟たざるべからざるを以て此際政府當局の果斷を促し相當國庫補助の下に速かに阪神橫濱對朝鮮西海岸の定期航路の開設を請願すべく仁川商業會議所は先づ蹶起して鎭南浦、群山、木浦の會議所に飛檄し之等の同意を求めて西海岸一帶の諸港相携へて改めて當局に陳情する處あらんとし役員會を開きて之に關する打合せを爲せり（仁川）

◎賑やかな舊正月前 農家の懷ろは益々潤澤となる

◈晉州（慶南）
地方農民は穀物類を稀有の高價にて賣捌け經濟狀態の良好なるは云ふ迄もなく久しく枯渴したる懷合も俄に餘裕を生ぜし折柄舊正月を餘す所僅に數日となりし市場は稀有の活況を呈し二十三日の市場は地方より出市の鮮人數萬を算し取引額五六萬圓を下らず就中粗布類は異例の高價に拘らず賣行旺盛なりし

◎咸北鑛業界 ◈運輸の便利なる鐵山◈

咸北道の鑛業界は時局以來非常の勢力を以て勃興し三井、三菱、久原等の大資本家相競うて鑛區の買收に著手したれば茂山、會寧、富寧の各郡を初め其他に新鑛區の發見頗る多く何れも試掘に屬し今日迄本採掘に著手する者なかりしが之れ一に鑛區の所在地が多くは海岸より僻遠の地に在り搬出設備に多大の資金を要するが爲めなりと然るに最近發見せられたる富寧郡に於ける數鑛區は何れも沿海數哩の間に在りて搬出費少額に下辨に得らるゝを以て鐵價下落の今日に於ても尚ほ採算し得らるゝを以て愈本年より本採掘を爲す事となり夫々準備中なるが三井の細洞鐵山を初め羅南附近田鍋吉の連川面橋洞鑛區、三菱の最近買收せる寄岸面班竹洞鑛山及び古賀備三郎氏に京城南才三讓所の買收せる橋院洞及び細洞鑛山等あり而して增田の橋洞鑛山は兼二浦製鐵所へ納入の契約成り三井鑛業部にて運川港の築港及び鐵道布設費等を支出する事となり解氷と共に著手の準備中なり廢生の班竹洞鑛山は清津に近き大西水羅に最も近く搬出頗る便利なるを以て解氷と共に之れが採掘に著手の計畫なり古賀の橋院洞、細洞の鑛山は最近買收せるものにて日本製鐵會社に使用の目的にて本年五六月頃より採掘に著手の豫定なるが何れも海岸より二里內外の近距離に在り一半は運川に一半は清津に搬出する計畫なり（清津）

◎奉天と電車 ◈遠からず解決すべし◈

某日奉天滿鐵地方事務所に島崎次席を訪問すれば例により莞爾として此の寒空にも拘らずデツプリ肥滿した身體で額に汗をにじませ熱い〳〵と云ひつゝ

◈奉天も 昨年來非常な景氣で各種の工業は勃興する建築は行はれる又明年も引續き種々の建築事業が行はれる豫定らしいから今では滿鐵附屬地百八十萬坪も狹くなつて仕舞つた

◈元來滿洲に於ける滿鐵の附屬地は曾て露國が有してゐた丈けのものを其の儘繼承したのだから目下の日本の計畫とは相一致せぬ處がある假令ば附屬地の廣狹にしても日本としては奉天の如き地には四里以上の附屬地が必要であるけれども露國は他に見る處があつたと見えて僅に百八十萬坪許りしか有せなかつた

◈が併し日本のものとなつて見れば日本としての目的を貫徹しなくつてはならぬ早晩馬鐵も電車に變つて來るのであらうから遠からず解決される事と思ふ殊に現在の城內の交通の如き今の昭德大街新名の浪花通りの先の商埠地にも愈支那側で運營する道路を敷設するさうである

◇が此の電車問題よりも電力問題が先決問題ではある、それには例の撫順のモンド瓦斯問題が當然引合に出て來る事になる……何でも現今では一基ワツトがマイナスの三瓩以上と云ふのだから……是の電力がドシ〳〵送つて來られる樣になると電車問題も從つて解決を速める事になる

◇其の次は奉天撫順間の交通問題である其の交通機關は電車を馳らせるにある、で其の線路はと云ふと二說ある、それは新線路を……敷設するか或は短縮したる線路……現在の鐵道線路を複線にして利用するかの二つであるが新線路を執るとすれば距離は短縮出來るが渾河の大鐵橋があり。且つ其の敷地を得るの交涉が案外困難だらうと思はれるので或は複線によつて實現されるかも判らぬ

◎慶南陸地棉 ◈第二期計畫實行內容◈

慶尙南道に於ける棉作獎勵第二期計畫は總督府の十年計畫に基づき既に調査計畫中にして近く計畫完了の筈なるが大正八年度の獎勵反別は約二萬五千三百十町步にして既に各郡に於て土地の選定及び播種用自家採種の調査に著手し二月末日迄に自家採種保存數量の調査及び土地選定を終了し豫定反別の作附實行を期しつゝありと木佐貫技手は語れり（晉州）

◎自動車値上（清州）

淸州に於ける居自動車部及び忠北自動車組合にては近時諸物價の暴騰に伴ひ經營困難なるを以て料金値上につき昨年十一月値上を警務部に申請中の處調査の結果愈本月十六日許可され十九日より實施せられたるが改正賃金は淸鳥淸天間一圓を一圓二十錢に淸忠間三圓五十錢を四圓に値上げしたり

◎酒より高い石油 石油の品拂底と石油成金

木浦にては近來石油不足の爲め地方民の困難甚だしきは到底筆紙に盡し難き狀態なるが甚だしき地方にては一箱二十七圓を稱へ燈火なければ夜間如何ともし難きにより泣く〳〵之を買はんとするも品なく石油會社販賣人は數量を限りおれば各地の販賣量數を調査し分布するも供給不足の石油は又如何ともする能はず苦情百出の狀態なるが此間に在りて利益を擧ぐるは小賣商にして僅に十三四圓の指買入品を一箱十圓以上の利益を以て販賣する等近來石油成金となりし者多數ある有樣にて從つて當府の階級者より電燈引用の申込多く會社は爲に電力の不足を訴ふ狀態なりと（木浦）

各地の物價

近頃物價の暴騰は殆ど天井知らずで、日用品の拂底には何處でも等しく困つて居りますが、就中、先日來の通信にある如く酒より高い石油の相場が出たり、食物より高い炭薪を使はねばならぬ仕儀となつて、生活難の聲は各地に漲つて居ります、之れに對して吾社は朝鮮滿洲各地に多數の支局通信部を設けて居りますから其機關を利用して各地の物價と特殊の料金等を比較することゝして一月三十一日現在の調査を取纏めて掲ぐる事に致しましたが、之に對して左記各地通信員から二十日現在の調査を第一信として送つて來ましたから御參考の爲めに讀者の一覽に供する事としました

品目	單位	沙里院（黃海）	開城（京畿）	江景（忠南）	忠州（忠北）
白米	一升	三十五錢	三十六錢	四十二錢五厘	三十七錢
醬油	一升	六十五錢	並四十五錢	（中）五十錢	六十錢
砂糖	一斤	二十錢	十八錢	二十錢	二十一錢
食鹽	一升	十錢	十錢	十錢	十錢
牛肉	百匁	三十錢	三十四錢	五十錢	三十五錢
鷄肉	百匁	四十錢	一羽六十錢	一圓也	四十錢
鷄卵	十個	三十錢	二十八錢	二十五錢	二十五錢
石油	一合	十錢	十錢	十錢	十錢
淸酒	一升	一圓三十錢	一圓位	白鶴一圓二十五錢	一圓卅錢
飲水	一荷	一錢	五錢	二錢五厘	……
家賃	一月	三圓	八十錢以上	一圓以上十圓まで	一圓五十錢
理髮	一回	三十錢	二十五錢	三十錢	二十五錢
髮剃	一回	十五錢	十五錢	十五錢	十五錢
湯錢	一回	五錢	五錢	五錢	四錢
髮結	一回	二十五錢	二十錢	二十錢	二十錢
旅館	一泊	二圓五十錢	二圓五十錢	二圓也	二圓
旅館の酒	一本	二十錢	十五錢	十六錢	十五錢
料理屋の酒	一本	二十錢	二十錢	十六錢	十八錢
藝妓	一時間	一圓	一圓	七十錢	八十錢

家賃は日本式家屋にては標準立ち難きを以て溫突一間一ヶ月の料金とす
旅館は中等を標準とし建食なしの料金なり

◈人口（吉林）
吉林居住の日本人戸口左の如くにして前年同期に比し戸數二十七、人口六十七を增したり（七年十二月末）
戸二九五 男四九七 女三三三 計八三〇

（東西南北）

◈◈慘澹たる燃料飢饉◈◈ 南鮮では燃料が食料品よりも高くつく薪が一把一圓もするといふので家根に葺いた物迄少しづゝ薪の代りに焚くといふ始末であるが更らに
◈◈石油に至つては 一屑甚だしく一斗二十三圓といふから一ケ三十錢近くにつく故に燃料ことの爲に一箇月三四十圓以上の失費であるとは實に慘めである
◈◈父の金一萬圓拐帶◈◈ 奉天城外第一區津田延松長男省三（二三）は父の金一萬九百餘圓を拐帶して朝鮮方面へ落延びたる形跡あり目下其行方を搜査中である

◈◈長春で鮮人の犯罪◈◈ 長春では阿片モルヒネの取締が嚴重になつて檢擧された鮮人は金大成（二二）洪承祐（三三）姜雲（三九）及び金昌植の四名で目下取調べ中である
◈◈銚子一本三十何錢◈◈ 城津では〃價騰貴〃に籍口つけて料理屋が申合せて酒を二十何錢に値上をすることで目下寄々協議中との事である
◈◈地方は大した景氣◈◈ 南鮮を廻つてゐる天一の一座が木浦の常盤座で初日に三百五十圓、二日目三百六十圓、三日目は雨でも三百圓上つたとは當つたものだ
◈◈外米の新しき炊方◈◈ 外國米を美味く食る方法は外米一升に片栗の粉一合を交ぜて炊くと日本米と殆ど變りがないとは帝大農科大學の教授稻垣博士の實驗談

三寒四溫

今ごき義經が蒙古へ渡つた杯といふと智識階級の人から一笑に附せらるゝ事は當然でありますが、所が近頃西伯利の事情が段々明かになつて來るにつけて現地から歸つた人は此義經に關する色々な噺を土產に語ります▲曰く『ハバロフスクの博物館には源平時代の日本の鎧が保存されてゐる』▲曰く『元朝秘史に成吉汗は東方より來たと書いてある』▲曰く『松花江を遡つて蒙古に入る道標に、安立、平泉、鷲尾、從尾等の日本的呼稱の地名が殘つてゐる』▲曰く『ブリヤード人と成吉汗との因緣に就て秘密の鍵が神秘的に保存されてある』とか云ふて居ります

演藝案內

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇
▲法恩山旭子師披露演奏會 旭扇會京城支部
▲蓬萊 人子晴 ▲村上喜朝子直
▲重松中尉 子成 ▲川中島 旭綠
▲宇治川下 子睿 ▲芳流閣 旭鶯
▲太田道灌 子麗 ▲盛 旭英
▲渡邊竹 子雪 ▲本能寺 旭河
▲伏見吹雪 千光 ▲本土寒 旭鳳
▲扇の的 子靜 ▲茶臼山 旭映
▲大高 香子松 ▲合奏
▲屋島 法恩山水波旭子師

有樂館 活動寫眞常設館 早川演藝部直營 電話（猪下）三〇五番 東京小林商會一手代理店 米國ユニアサル會社特約
當る一月二十七日より公開
▲實寫ユニバーサル週報 六十四號 全一卷
▲喜劇音樂狂
▲大活劇五人男 六千呎 米國ユ社バイスン映畫
◈人情劇『深夜』全二卷 米國ユ社 名女優ルーズクリフチード嬢出演
◈奇怪なる幽靈船 十八編中 九、十編 米國ユ社世界的特別連續大活劇
◈孤島の危險 ジーエーグラアレキサンダー作
◈人情劇『恐怖の影』全五卷 ユ社新進花形プローテアノン嬢出演

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店
當る一月廿七日より新寫眞
△實寫 動物學參考魚狗
△米國メトロ會社傑作 ◈活劇『司令官』全五卷 第一師團司令官マイルス中佐の職務及び奮鬪なる南國の陣に馳驅する英國
△米國エトナ社傑作 ◈喜劇チヤプリン酩酊 全二卷
◈舊劇『竹中半兵衞』全四卷 松之助扇太郎 濃州稻葉城に齋藤入道の寵臣竹中半兵衞は人道ハ死後當主出龍の山の中に隱く遁世して出でざりしが信長の稻葉城陷ち後木下吉郞が切なる懇請により軍師になると云ふ波瀾も多き彼れが前半生の物語

文樂座 本町五丁目 電話二三六八
浪花節應用中村福高一行 二十六日より八回替（午後五時開演）
◈前 廿世の鮫 ◈切 三十三所壺坂靈驗記 古手屋八郎兵衞

浪花館 京城明治町 電話二六〇
▲御祝儀 ▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲落語手踊 ▲落語音曲 ▲長唄百猿 ▲落語手踊 ▲ヴアイオリン合奏 ▲落語 ▲落語音曲 ▲西洋奇術 ▲落語音曲 ▲落語手踊 ▲人情美 ▲大切興

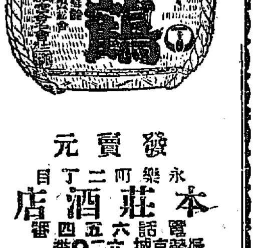
壽座 京城本町 電話五七八 大阪歌舞伎中村玉六嵐信藏一座
當る廿七日午後正五時開幕
前狂言 鎌倉山佐野掛橋 上中下
中狂言 新當後日物語 上下
切狂言 於染久松妹脊門松 下
當店より倉場鈎人形まで

黃金館 大陸活動寫眞京城 電話（晝間）二二六六（夜間）二二三七
當る一月廿七日より新寫眞提供
▲實寫 ▲滑稽 ▲新派劇
◈『荒鷲四郎』全四卷
◈活劇『技士の奇禍』
◈『戰死』全九場

▼特賣廣告▲
統繪絹 一尺二付 金五十五錢 但し在品僅少
右均一特價を以て販賣仕候間至急御下命願上候
京城日報代理部

田中丸病院 京城西小門町一二番地 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番 【入院隨意】 普通病室隔離病室の設備あり

優等清酒 一鶴 發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番



外科皮膚科 瀨戸醫院 京城旭町二丁目（當三丁目）電話四九八二 （診察夜九時迄） 醫學士 瀨戸潔

人蔘エキス 陸軍御用 各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一弊店に品切の節は本店へ御注文願上候 朝鮮京城本町 津村兄弟商會

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町二丁目（本町より入る中央）電話二一〇二番 內地旅行中の處歸城診療に從事す

資本金六百萬圓 積立金操越金 金百貳拾五萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 同 新龍山支店 同 龍山出張所 銀行一般ノ業務ハ勿論京城支店及出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

イケタ小兒內科醫院 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院一二三四番 自宅三〇〇番）

商況

東京株式特電

廿五日後場	引値
東株	一〇七、七〇
同新	一七〇、七〇
商船	一四六、六〇
同新	九〇、〇〇
郵船	一九九、七〇
同新	九一、四〇
東汽新	……
鐘紡	二六八、八〇
同新	……
東紡	三三〇、一〇
富士紡	……
同新	一四六、〇〇
寶田石油	九〇、一〇
横濱取引	……
日清製糖	……
北海炭礦	……
南滿鐵	一五一、五〇
第一新	二六〇、〇〇
第二新	七六、八〇
東拓	七六、八〇
同新	……

東京現物中値

二十五日中値	
東拓	七七、五〇
同新	……
朝鮮銀行	一六一、〇〇
同新	……
南滿鐵道	一四九、〇〇
第一新株	一二二、五〇
第二新株	七五、〇〇
東洋製糖	二五、〇〇
明治製糖	……
臺灣製糖	……
京城電氣	五六、五〇
同新	一七、〇〇
朝鮮瓦斯	二四、〇〇
商船	一四五、五〇
同新	九七、〇〇
郵船	一八六、〇〇
同新	八九、五〇
鐘紡	二四六、〇〇
同新	二三六、〇〇
東株	一八四、〇〇
同新	一六六、〇〇
東洋汽船	……
寶田石油	……
横濱取引	……

東京期米特電

	廿七日前場
寄付	三八、六〇
高値	……
安値	……
止め	……

大阪株式特電

二十七日前場	
宇治川水	……
京阪電鐵	……
東洋紡績	一七〇、〇〇
同新	一二七、〇〇
合同紡績	一四一、〇〇
鐘淵紡績	二五一、〇〇
同上新株	三六〇、五〇
東洋製糖	一九八、〇〇
大阪商船	一四八、九〇
同上新株	九六、〇〇
郵船株	一六八、一〇
同上新株	九〇、一〇
堂島米穀	一三二、〇〇
同新	八四、五〇
東京株式	……
大阪株式	……
同新株	……
日蓄	……
滿鐵	……
	止め

大阪三品特電

二十七日前場 一月限 …… 六月限 三一七、〇

大阪期米特電

	廿五後場	廿七日前場
寄付	三八、八八	三八、七九
高値	三八、八八	三八、八九
安値	三八、八八	三八、七六
止め	三八、九五	三八、七六

兵庫期米特電

	廿五日後場	廿七日前場
寄付	三九、二三	三九、二三
高値	三九、三八	三九、三三
安値	三九、二三	三九、二〇
止め	三九、二五	三九、二〇

下關期米特電

二十七日前場	正米標準高	中限	先限
寄附	三八、四	三八、六四	三八、八五
高値	三八、八	三八、六	三八、九
安値	三八、四	三八、〇	三八、九
止め	三八、八	三八、〇	三八、六

雜報

●正米デリ高(正米) 買物少々ありて雖荷主唱へに安値は折合はず殊に定期の高値に刺戟されつゝある折柄買人側も永く彷徨のみを續くる事能はず自然ずり上く

●相場羅 (?)上る據合入あり白米より打撲したる際埠は日下不商立り米三十五圓七十錢在來種三十四圓八十五錢處に當れるも此迄にては到底買付くる事能はず實際は引取

●日本種三十六圓内外の賣買なり

●支那粟續騰 (?) 粟は輸入の不能に前約品の荷なきを以つて現物がスレとなり今や殆ど賣物らしき賣物なく正米は高し之れに作ひ需要も附加せる事にて雜穀中獨り東京に買氣を集注されるは果相場は日を逐つて昂騰を續けつゝあり

●海上物十八圓十二錢 は相場の唱へられ渡つて三月物の如き十七圓見當に上り又一般買躊躇にる四五月渡しの物さへ之に伴ひ追々强硬なり

●銑鐵漸落歩調 新春早々の市況は殆ど手合せも見ず相場二百五十圓見當唱へなりしも米國英國銑は勿論米國銑の入津を俟期して買氣は益々萎縮、英國銑は勿論米國銑の二百四十圓以下の値を生じ印度銑は商權なきも更に下値なる可き見込にてマバラに持筋筋は市況頗る不味に陷り目下二百圓見當の唱へなるも目先三四月受渡期に及の先約筋惡の如何にては更に崩落を見るやも計り難き成行

●大豆は持合ひ 大豆は内地筋の買氣立ち居るも大田以外の山積迄止まりたる等にて鼓許品薄強弱は失せざるも眼下物七圓五六十錢見當を持合ひて動かず前内又目立ちたるものなし

●分蜜市況不振 精糖は引續き取引緩慢にて相場頭重く保合ひ目先硬材料の現はれざる限り擡頭困難なりと唱へらる▲分蜜新糖保税物は大相場も漸く總局を告げしより相當好況を呈す可く見られて居るも市況閑散の成行きなり筋かに商手側に在りては無謀の買進み入る躊躇せるも產地高を受けて賣方の態度强硬なる結果見送り合となり最近十七圓ドル買ひの二錢ヤリにて手合せの有樣なり▲赤糖は在庫稀薄なるに入港き少より品逼迫して安値捨ひの買手も相當活潑なると相俟ち益々强硬の成行なり

●味噌と醬油 醬油は我が軍西伯利出征と共に頓に同方面への輸出激增し京仁兩業者は之に應じ規模の擴張と各自製造力の增大を計れる時恰も出征軍の一部引揚げを見るに至り同方面の輸出一時止まりたるも其後滿洲方面に販路の開拓に努めたる爲め引續き相當の盤面を保ち且つ近來醸造の進歩に連れ品質著しく向上し日に月に内地品に駆逐する事なき… 多きを以て製造業者は要なきのみならず殊に原料は市價の騰貴の一方なれば當業者の維持上漸く苦痛を感じ來れるものゝ如く眼下原料の低落見込み立たざる上は製品共に幾分の値上を免かれざるべし

下關帳場

▲朝鮮米は氣迎兎に角過日來の入荷少なからざるに拘はらず引續き入津之あると一面川棚筋の動かず…にて益々入荷を増加しつゝありて…合となり…此地の…筋の一…當用筋の弗々を取れるも只々に…市場閑散の爲に商勢も鈍く小口に出來は左の如し

▲大豆は强保合 弗々の入津あるも産地の氣丈・傳へつゝあるも今後に於ける輸入の減退を氣

京城正米市場

別項の如く期米高に荷主の強硬買人に躍上れり本日の出相場は玄米八百五十錢見當最高三十五圓五十錢最低三十三圓九十錢なり

仁川正米

期の入津弗々ながら各地正米高を移して十一錢五厘見當を唱へ居られり 正米留は群山高を移して賣方氣强く地廻玄米三十五圓三十錢見當を唱へ

神力三等合格二十八圓三十錢 見當(?)買方見送り居れり

生魚市場

京城日丸市場入荷一段に少なく目立ちたるものなし
たい七〇ちのたい四〇ひらめ三〇ちたご三〇めばる二正しび五〇さわら四〇外いか二〇うん…び六五こち三〇小あじ二〇

釜山米市場二十七日

▲正米保合 賣方は先高を見越して態度頑なるも買方も手控へにて市場閑散なる値相場も變化なく保合を呈したり(釜山特電)

	當用(?)
▲朝鮮白米	四十三圓
▲同	四十三圓二十錢
▲同	四十三圓二十錢
▲同	廿一圓四十錢
▲ホアン大豆	廿一圓五十錢
▲フリツボ大豆	廿一圓六十錢
▲同	廿一圓五十錢
▲元山大豆	廿一圓六十錢
▲同	廿一圓五十錢
▲錦川海苔大豆	廿二圓五十錢
▲同	廿二圓六十錢

▲肥料の現況 各肥料とも荷入津極めて少數なるが爲め在荷も追々薄らぎ來れるより荷主は强氣を張り此鼻先居れるも買氣の之れに伴ひ兼ねたるの風情にて今一段人氣引立たず目先き保合の商勢に在りて弗々の賣口あり
▲小豆も手堅し 鈔々しき商内は行はれざるも下地の留品の多からざると入津の杜絶さ…ため分々安きは商ひ頗る出來ざる…米ずり强を呈し一先保合商狀なり
樗ふる振りもありて荷主は賣値船さは見方の高値不面なるに係はらず市況弛ます依然保合

仁川期米 二十七日前場 (益々强硬)

▲一節各地電報米高なるも各地の正米高を移して買氣旺盛立合は當用來不申三十五圓四十錢より先三十六圓三十五錢と十六錢高寄付き物現はれ賈物多ク二十六錢と下押しせし賣は買物伴ひて更に三十九錢迄返し七錢引

第二節 出來不申 三十五圓六十五錢、先四十八錢より五十錢まで反撥せしも高値は賣物現はれ四十五錢と下押しせしも押目は買物衰はず五六錢にて揉合を演じ七錢引
第三節 當中出來不申 先四十七錢より八錢迄迫りしも賣物ありて四十三錢と押し
第四節 當用來不申 中六十五錢 四十錢より買物多く六十錢と四
第五節 當用來不申 中三十五錢より五十錢先四十七錢より買十錢引
▲騰 四節 當中弗 大引せし 六錢の買騰の強硬 くるの
五十五六錢
▲中限段は…二十五圓四十六錢 平均値段五十五錢 ⊖六十五錢⊕ 十十錢 平均値段七十一錢

開業廣告

雜穀貿易精米業
新義州驛前
弘部精米所
電話 一番
電略 (カネ)ヌ八(ヒ)
振替 京城一四二二番

市場雜觀

一節前場大阪一節三十八圓八十五錢二節八十二錢 三節九十二錢 八九 四六節不明七節九十二錢三十九圓六十九錢八十九錢 三十二錢三十九圓三十八圓六十一錢 十錢 兵庫三節三十九圓 下の關… 二十五 後場各地入地末着なるも大阪も前場のシツカリを移して氣丈に立合ひ當用五十錢中… 三十五圓二十錢と始め因居の利喰賣りに十錢下押せしも押目は買物に二十錢より二十五錢は⊖の買物に先限は三十六圓十錢と跳ねし先限は三十錢より二十錢六錢高に寄付き一錢と緩みしも再び四五錢迄返し十五錢と移りに買物多く所納大阪三節の高電に困りて十八圓九十八錢の高より買氣甚しく値は嘱見越の利喰ひに十九み二十錢より一錢と反撥せさ押し賣合せし鮮米の移出制限令の噂さに一時人氣挫け三十五圓八十錢さ叩込みしも二十六圓二十錢より大崩落を演じたるが旣に氣筋見て…。鮮米と内地に於ける…

以上各地入着後寄一節も三十八圓八十九錢…四十九錢先九十五錢 中三十九圓二十錢 兵庫三十九圓二十錢 止め

今朝…天各地入電末着なるも正米高の移りに益々買氣旺盛に立合は中限三十六圓三十五錢と十六錢高付も

中限拔

株式會社仁川米豆取引所仲買人
金 高田仲買店
●商金對注文は紹介な不要候
●營業案内及電信略號表進呈
仁川海岸町三丁目
電信略符タツ
振替三八一一
電話長一〇〇
電話長一一九

堂島米況

▲新高値に行惱み 朝來綿絲撥擾の提出勞働問題に刺戟され五錢安に始り東京八十四錢と五十錢安に下放れたるに一時買人旺盛にて七十九錢と行きより見直したれば氣味惡かりしが而も爲替以外に暫く賣方に不利なる米價其他四圍の情勢は依然賣方に不利なる多くはマバラの手仕舞にて上より突込みて賣なすものなく過ぎざる一面渡米不足の前提は賣買共に中先又前米絶へず業者を以下に渡米不足より引締りを報ぜしより同地高さ呼應して向上步調となり遂に九十六錢の高値に見て九舶の關門は際ぜんとする形勢を呈したるが九州强に流る石に賣物少なからず買方も喰を急ぐより止は八十九錢さ即かれたるが果して目先大なる押目を豫するや疑問也
▲氣勢變らず 大體に於て相場は依然好勢なるが遣は正米の强硬と四圍の事情より勞に買方に仕手の現はれず大分買の利喰あるのみにて殊に渡米不足の前限は期目の接近に伴れ空賣の踏上げ心配なくし一面中先の…ゝ前もあり賣方又乘替買ひ爲すらによ…自然引締るものなるが氣配は變らず高値は利喰を出せ…の模樣なり
▲東軟西硬 目先の變化見み難く兵庫が常例以下に勢のため一層買方に促ぜらが東來軟弱にの東京は暴騰の說撤廢に伴然軟調となり今朝は十五銭と離されたる此がくして中央は今後何ほ擴大すべきか二十五日

▲米限⊖	三十六圓三十五錢二錢三十四錢五錢四錢六錢五錢四錢三錢二錢
	三錢二錢 一錢二十一錢三十錢一錢三十二錢二錢三十錢一錢二十九錢七錢
	六錢七錢八錢三十錢七錢九錢三十錢二錢一錢
	三錢四錢五錢六錢七錢六錢八錢
	錢九錢七錢五十錢四十十錢
	九錢五十錢七錢⊖四十錢八錢
	錢七錢六錢五錢六錢五錢五錢
	中六錢七錢四錢六錢四錢五錢
	七錢八錢六錢七錢五錢⊖四十錢
	三錢⊖四十錢二錢三錢四錢五錢
	六錢五錢四錢五錢⊖四十七錢八錢
	先七錢八錢九錢五十錢二錢三錢
	二錢一錢二錢三錢四錢五錢六錢
	五錢四錢三錢四錢三錢四錢

解合

れ二十六錢より二十四錢に寄付き一時押日は買物…よりも先限は米穀硬…勢に押されて下押した…に押し戻し、而十六錢の五十二錢に囲はりしも保、前日よりも五十錢高の…

▲米肩代さ高野賣 當限は限は硬 五十四十錢より七十五錢迄にて賣

●軟共に援解合 談

成立す 右は豫想通りにて解合と成りたるが其當相場は…

●煎高の演 正米高に 前週の如く…正米高は…

仁川米豆取引所 廿七日の三月限

	寄付	高値	安値	止め
前場	三十五圓三十四錢	三十五圓五十四錢	三十五圓二十六錢	三十六圓二十六錢
後場	三十六圓五十錢	三十六圓四十七錢	三十六圓五十五錢	三十六圓四十二錢

出來高 一節… 二節… 三節… 四節… 五節…

北濱たより

前週初めよりの不參相場に東西市況ともに軟氷… 賣物・頭は先づ依然…つてシヤリとなつたのであるが…(以下判讀困難)

毛谷村六助 卅六番角力 百二十七席

桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

秀吉公は暫番相撲を御覧になつて暫時休憩となる、從つて四本柱の役人も代ることになりましたが、今度選まれたのは加藤左馬助嘉明、眞田安房守昌幸、大谷刑部少輔吉隆、仙石越前守秀久でございます、この秀久は前名を權兵衛と云つて信州小室の生れにして後に但馬出石に於て五萬八千石を給はりました、大力無双の豪傑、名前は權兵衛で、稀代權兵衛とは違ひます、此の人の生涯の功といふのは、彼石川五右衛門を大阪城内にて生擒ましたが、又五右衛門も賊ながら大した者であります、此の五右衛門は南禪寺の門前に住んで居りました、南禪寺の樓門の上に烏が上がつて居ります、五右衛門が仕事に出ようとすると此の烏が異な聲を嘯きます、土で造らへた物が嘯く譯がない、風でも當つて鳴るのでございませう、其時に懸けると仕事を爲し損じるので、五右衛門が腹を立て或夜樓門へ上り、竹の先へ鑓を結付けコツ〳〵と叩いて打毀さうとした、スルと不思議にも其の烏がバタ〳〵と羽搏きをしたので、アッと驚いて五右衛門は足を辷らし、樓門の中央より落ちました、背を強く打ち、左の足を挫いたが、是が爲に片々の足が引くやうになりました、仙石權兵衛に足を踏んだのと畢竟足が悪いからでございます、是を演劇でございますと、山門五三の桐と云つて五右衛門が山門に住んで居て、山門の欄干へ足を掛け、村田の看板の樣な大きな煙管を咬へて春の眺めは價千金とは小さな例へなぞと云うて威張つて居りますが、山門に住んで居た譯には無い、南禪寺の門前に住んで居たのでございます、五右衛門は伊賀國青地の出生にして幼名を文吾と云つて忍術者の百々地三太夫の弟子となつて伊賀流の忍術を能くしたものでありまして京都へ出て來て南禪寺の門前に宅を構へ、其の名を德平入道と申して表面は茶道指南、又金貸を渡世として居りますが、内實は賊でございます、内弟子と見せたのは松山の大太郎、筑紫權六、松並友九郎、丸山熊石坊、是等は皆手下でございます、誰一人是を賊と知る者はありません、其頃京都三條に居りまして千利休の弟子に森如軒といふ者があります、同藝のこと故懇意にいたし毎度五右衛門は遊びに參りますが、或日五右衛門は如軒に對ひ『五』貴方先生茶の湯の方で先づ釜を以て第一といたしますが、名代の釜がございませうか如『然れば、松永彈正が秘藏をいたした白雲の釜こそ天下一品でございませう、然し彈正久秀が切腹いたす時に信長に奪はれんことを殘念に思つて打碎いてしまひました』五『惜しいことをしましたな』如『其の後當今では殿下秀吉公が御秘藏なさる東雲こそ天下一品の釜でございませう、手返し料三百石添へて手前の師匠千利休がお預かり申して居ります』五『ハヽア左樣でございますか』五右衛門は何に喰はぬ顔をして歸つて參り、子分を集めて『五』汝達も能く聞け、人といふものは下賤な眞似はするが、少し上品なことは爲ねばならぬものだ、汝達は茶道を覺ねて置け ○『ヘエ何うか教へて下さいまし』五『今俺が如軒の處へ行つて聞いて來たが、東雲といふ釜は天下一品にして秀吉公が秘藏なされ千利休へ手返し料を附けて預け置くと聞いたが、此の釜で湯を沸かし、汝達に茶の馳走をして遣らう』○『それは有難うございます、釜が宜ければ定めし茶も味が宜うございませう』五『俺が持つて來るから爐へ炭をついで置け、火のおこりきらぬ内に持つて來る』○『千利休の邸は大阪でせう、到底今夜の間には合ひません』五『馬鹿を云へ、一時經たぬ内に持つて來る』是は忍術者でございますから不思議な事をいたします。

電話賣買 萬年社 京城明治町一丁目 電話一八四四番

胃腸病院 京城明治町一丁目 入院隨意 電話一三五九番 院主 佐々木杏造

支官商へ辦[illegible]張[illegible]さるべく決定せりと

一月廿八日

(舊)十二月廿七日 (火曜日)ひのえたつ 八白 (暗劍殺)未申 東北 △友引 たいら

▼八白▲注意に越したる事はなき日
▼九紫▲勇躍すべき日なり昇進移轉旅行棟上婚禮交談等一切吉なり
▼一白▲誠意の先方に屆かぬ日也
▼二黒▲親み深き日にて恐らく終日愉快なるべきも散財を愼むべし
▼三碧▲長し短しにて纏まらぬ日
▼四綠▲兎角意氣の揚がらぬ日也
▼五黄▲床しき日にて賑やかなる日なれど餘り深入せぬ樣にすべし
▼六白▲結構な日にて思ひ立ちたることは決行して成功すべき日也
▼七赤▲仕事の上に儲かる事ある日にて何事も進んで行うて可なり

◎奉天通信

◇張巡閲使と飯田氏 今回大興公司社長飯田延太郎氏との間に于張巡閲使は今後辨事契約成立せしを以て飯田社長は廿三日滿鐵公所に於て張使外日支關係者十數名を招待し清宴を張りたるが張巡閲使は廿四日夜其の新邸に飯田社長を始め赤塚總領事野口辨其の他十數名を招き晩餐會を開催せり
◇王廳長は新鐵嶺辨 豫て財政廳長の要職を辭すべく噂されつゝありし王永江氏は新に任命されたる旨

皮膚藥 發賣 貴顔の美人と成るには 清美液 一名『あれしらず』 到る所の化粧品店藥店にあり 定價金二十錢 三十五錢

塗料船具油類金物
土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品
朝鮮一手特約店
同免許船燈
製作販賣所
旗印石油 合和販賣所
村谷本店 仁川本町一丁目 電話長五六番 振替京城五九番
支店 村谷石炭部 仁川府支那町 電話八一九 振替京城五十番
義州印刷所 平安北道義州城内 電話長二 振替京城九八

強壯補血、發汗、收斂、利尿、胃、腸、消化、脳病、精神病、ノ妙藥
効○老神經衰弱○胃○寒冷症○精力減退○心臟○ヒステリー○ルウマチス○○婦人病○不良○肺病○腎臟病○病○貧血○不眠○腦病○慢性○○○病等ニ特効アリ
製品 十五入 一圓八十錢 三十五入 二圓二十錢 特製 十五入 二圓四十錢 四十五入 五圓四十錢
特約大販賣店 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

李太王殿下御納 嘉品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルチ以テ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ粘着力强ク郁佳ナル蔘味ナイシ、尾蔘ヲ原料トシテ蒸製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鐵臭蒸臭ヲ有スル粗悪品ト同視スベカラズ。

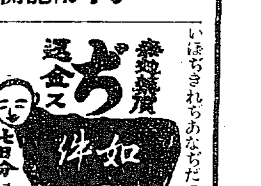
製造元とのやくそくで
割の安い品ぞろいの
他の日鮮人向雜貨食料品
一、葡萄酒、麥粉、食料、砂糖、洋酒、酒、石油、醬油、染粉、蠟、ビール、サイダ、足袋其他
仁川本町 大おゝしろ店
河野本店 電話二八番 振替京城一一一二番

◎◎ストーブ各種及附屬品
魔法瓶井中瓶取替
京城府本町三丁目 和洋金物商 佐藤半次郎商店
電話長一四三番 振替京城一一〇番

宮内省御用達
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
櫻正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店
電話長八四九番 振替貯金口座京城一四五四番七五番

資本金參百萬圓
(明治三十八年設立)
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇一二〇 振替口座京城二一〇五番
支店所在地 水原、下坪、大田、開城、南大門、釜山、東京
出張所所在地 鍾路、東萊

最上醬油
朝鮮仁川府
高杉醬油釀造場

御賣藥免許

ぢ如件
七日分 金貳拾錢
りん病 ばい毒
ぢノ手術ハ肺病ヲ來ス恐アリ
又子孫ニ遺傳ス他ノ仕藥無ニ下劑ニ有スル大小便ニテぢ毒ヲ根本的ニ治スル特効アリ願ハ一日モ早ク吞テ御全快アランコトヲ
本舗 朝鮮湖南線裡里 肛門藥商會 京城振替五六二二番
支店募集す

京城古市町 電話一七四六
瓶類 畑兄弟硝子工場 主 六一
弊工場特製人參エキス瓶…に限る
其他一般の御注文に可應候

いぼぢきれぢあなぢだつこうち出血

大阪商船汽出帆
(仁川出帆)
群山大阪行 安東丸 一月廿八日 正午出
木浦大阪行 信濃川丸 二月一日 正午出
(元山出帆)
西湖津、新浦、城津、清津行
●宮島丸 一月廿六日 後十二時
●釜山門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 一月廿五日 後九時出
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行
●基隆丸 一月卅一日 前六時出
●湖北丸 二月十四日 後六時出
内地各港出帆主要船舶
南洋行 北米行(毎月二回) 南米行(年四回) 濠洲行(毎月一回)
●歐洲航路ハ一時中止…
●切符發賣、貨物ノ取扱…
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇〇番
京城代理店 …

日本郵船出帆
仁川發
大連、秦皇島行 酒田丸 二月五日正午出帆
淡路丸 二月九日正午出帆
郡合ニヨリ早發スル…
仁川海岸町(電話十番)郵船代理店 …

朝鮮郵船出帆
大阪行… 他港行ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所ニ問合セ…
平安丸 一月 …
平壤丸 一月 …
浦汐行 …
雄基行 …
元山雄基線 穩城丸 一月十八日 元山發
大阪行 …
忠清丸 一月 …
成鏡丸 一月 …
後丸 …
濟州島行 …
鬱陵島行 …
金剛山遊覽便 …
釜山浦項 …
濟州島行 …
關門行 …
木浦麗水行 …
多島海行 …
木浦行 …
晉州丸 …
鎭南浦行 …
大連行 江原丸 一月 仁川發
本社 京城南大門通(電話長一九五三、一二二二)
釜山支店 元山支店 仁川代理店 木浦代理店 …
其他各寄港地ニ荷客取扱店

共同汽船出帆
大連直行(關東都督府命令航路)
共同丸 一月廿七日正午出帆
大連着 …
仁川代理店 京城代理店 …

尼崎汽船出帆
群山木浦下關神戸大阪行
新光丸 一月廿八日後四時出
赤城丸 一月廿一日後四時出
秀吉丸 二月一日後四時出
神代丸 …
君が代丸 …
仁川海岸通三丁目 富杉回漕店(電話五九番)

萬光商會汽船出帆廣告
第三萬光丸 元山西湖、城津、清津行
第三萬光丸 門司、宇品、神戸、大阪行
釜山 大池回漕部 電話二二番

京城日報 第五版

…ンソー氏司會…に關しては何等決定する所なかりしが如し一方露國側にては巴里に於て各勢力代表…

在京…大臣宛…財…省より高橋大藏…左の如し(東京)…

…は英國七億三千三…萬弗にして其内譯英國四十…億…五億三千五百萬弗加奈陀四億…千六百萬弗佛國二十四億三千六百…六千二百萬弗墨西哥一億二千八百萬弗伊國十三億一千萬弗露國三億…千萬弗に上れり

▲米國公債乘替 三分半…年末日現在二億六十八萬五百八十三弗又四分利付第二回自由公債三…四分利付公債に四分四分の一分利付公債に…換を…勸告せり

國際聯盟と帝國の態度(上)

京城日報

▲國際聯盟問題は講和會議に於ける最大の條件たるが故に、各國政治家が競つて之に關する意見を發表しあるにも拘らず、我が政府當局は今日に至るまで、殆ど我不關焉の態度を取り、何等言明する所なく、帝國議會に於ける原首相の施政方針の演説を讀むも『今回の講和會議の目的は、單に聯合國と獨墺側に於いて平和を回復するに止らず、世界全般に渉りて鞏固なる平和の基礎を確立し、今日に於ける戰爭を終熄せしむるのみならず、永遠に亘りて戰爭の發生を防止せんとするに在るものと信ず、政府は此の信念を以て講和會議に臨み、此の目的に貢獻すべく、各般の提案に對して、誠意聯合國と協力して、之が成立を圖らんことを期す云々』といふに止り、國際聯盟問題に對して一語の之に及ぶなし。又内田外相の演説が總々數千言の長きに亘れるも、要は支那問題を中心とし、傍ら露國問題に言及せるのみ、國際政局に關しては、僅に『帝國は正義と平和の行動に依り國家の自由なる生存發達を遂げ、世界の門戸が帝國の適法且つ正當なる活動に向つて開放せられんことを望むの外、何等他意あるなし云々』と言明するのみ。其の間一種茫漠なる決意の存することは、之を推測し得ざるにあらざるも、各國政治家が赤裸々的の聲明に比較するときは、吾人は多少物足らざる感を抱くを免れず。最も内田外相が一般的の言明の間に對し『我邦の特別な條件中には當に述べたる如く困難なるものあり、又列國共同のものあり、國際聯盟、海洋自由の如き重大問題もあり、是等も愼重に考慮すべきものにして、政府は言論界の所說に注意しつゝあり、且講和條件は列國中に醸議之を發表したるものなし、日本獨り之を公表するは、適り過ぎたる處措なりと信ず』といひ、又某々議員の間に對して『國際聯盟は主義として何人も異議なき所にして、世界永遠の平和を保ち、再び戰爭なからしめんとすることは、何人も共鳴する所なり、唯如何なる形を以て國際聯盟成立すべきやは不明なり』而して人種的差別待遇の廢止せられんことは、當局の最も熱望する所なるも、此の問題と國際聯盟とが、如何なる關係を有するやは、國際聯盟に關する提案を見たる上ならでは不明なり』と答へたるに徴するときは、政府の眞意が國際聯盟に關する具體的提案、或は少くとも其の根本原則なりとも發表せられ、之を我が國是と照合したる末に、贊否を決定せんとするに在ることを察し得べく、吾人も亦日本帝國の立場として甚しく當を得たるの態度なりと信ず。

按ずるに英佛兩國に於いても、ロイドジョージ氏及びクレマンソーの言明を讀むも、一も二もなく米國大統領の提議に贊意を表するものにあらず。英國の海洋自由の問題に對する、佛國の國境防衛の直備に關する問題の如き、既に三國の間に十分の諒解を得たりと傳へられつゝあれば、日本帝國も亦其立場よりして、種々の要求あるべき筈なり。然らずして徒らに他の尻馬に騎り、何事も先進國の御意のまにまにと盲從する如きあらば、帝國の將來を如何にせん。是れ今日輕率の言動を許さゞる所以にして、吾人は政府の愼重なる態度に對し、我言論界の頗る措だ不注意なるを感ぜざる能はず。

南部烏蘇里地方施療狀況(一)

嚢に南部烏蘇里地方に鐵道線掩護の爲騎兵隊を派遣せられたるが當時露國官民間にては之に對し諸種の臆測と杞憂を以て充され表面は種々我要求を容れ裏面には各種の抵抗を作成して事毎に逆ひ或は英米に宣傳せるものあるやにて一時渉外事項頻々たらんとする狀況なりしが客年十二月三日同地方に施療機關として朝鮮軍より二等軍醫菊池軍醫同堀内看護長の兩氏及び看護人八名を派遣しバラバシ(十二月十四日)及びノウキエフスコエ(十二月十日)に施療を開始するや地方官民は其の階級の如何を問はず日本ドクトルの診療を請ふもの踵を接し應接に遑なきに至り從來の渉外事項に關する彼等の疑惑は此の施療により全然消散し得るの狀態となれり

由來此の地方には醫術に長ぜるもの稀く又露國の習慣として往診には多大の經費を要求し來診者も定めたる時間内に容易に診斷を行はず診斷後更に其處方により藥店に赴き藥品を買求めざる可からず然るに露國の商店は一定時間開店し其他の時間には閉店して商買を行はず偶に場合により本日診斷を受くるも藥品は明日購求せざる可からざる等幾多無稽の手數と時間を要するを以て露人は日本醫師の時間外診療すること及び藥品を同時に與ふることにより從來之れを歡迎しつゝありしが今回の施療所開設により恰も旱天に慈雨を得たるが如き感を以て之れを迎へたり

混亂の露國 暗礁亂立の政界

從軍記者 早川已之利

◇(承前)殊に注目せざる可からざるは戰線にある軍隊の向背である彼等は露國新興の志を抱いて立つた、ジドリック少將の麾下にあつて、歐露の過激派軍と闘ひつゝあるが、全露政府が日に〳〵專制化するため『我等は露國民族の爲に銃を乘つて居るが、專制政治家の犠牲となることは可能ぬ』といつて、戰意全く沮喪し、陣地を撤退して後方に引上げるものが多い、ヴオルガ戰線に於て、何等の抵抗もなく、ペンザを拋棄し、續いてウハアに過激派軍を侵入せしめたのも、反政府熱が高潮した爲めである。チエック軍のあの戰爭好きのガイダが、折角奪還したペルムを棄てゝ、エカテリンブルグに引揚げんとする意想を他に洩らしたのも、全露政府に愛想をつかした結果である。將來若し、チエツク軍が手を引き、同軍及び西伯利軍の最高幹部が動搖したならば、軍隊は再び赤衛軍化してオムスクに殺到し、政府を乘り奪るか、何れかに名望家を擁立するか、何れかにするであらう。

◇元來コルチヤツクを獨裁官に戴く全露政府は一部の將校團の後援支持に依つて建てられたもので、戰線の西伯利軍の實權は、握つて居らぬから、一朝事ある場合は張子の虎よりも脆く倒れるであらう殊に彼の傘下にある政治家はウオロゴウスキーを除いては田舍廻りの二三流どころで、全露政府など、賂を打つことが僭越であるとまで評されてゐる。コルチヤツクが四面楚歌の聲に怖れを抱き、盛んに恫喝を試みたり、部下將校を派遣して地方軍隊の行動を監視したり、濫發紙幣を以て人心收攬策を講じたり、英佛伊等を背景にしてセミヨノフを牽制したり、惡辣なる專制壓迫の命令を頻發するのは畢竟するに弱い犬が無暗に吠ゆるやうに臆病神に憑りつかれてゐるからである。將來彼の專制壓迫が深刻になればなる丈け、暗礁の危險が、彼の前途に迫り來る事を證明するに足るのである。

◇十月政變以來のオムスクが右黨の根據地であるならば、トムスクは西伯利の最高學府で、大學教授及び大學生は一般に民主、社會主義を網羅せる在來の縣自治會並に其他の議會委員等は何れも、社會民主黨、社會革命黨程度の社會主義者で、毫も、立憲民主黨及び其他の右黨を有せなかつた。然るに十一月政變以來、縣廳、上級將校の所謂官僚が、專制的色彩強くなるや、トムスク縣會は過激派と結んで、政府に反對せしため、縣コミサールは之を解散し、爾來縣會に對して戒嚴令を布き、十一月以降は益々壓迫を加へ、左黨に屬する議員を公金費消其の他の名に依り、假借なく投獄し、反對議員撲滅のために、遠からず全議員の改選を行ふことゝなつて居るが、改選の際には軍隊を以て干渉せしむる計畫である。事情斯の如く左黨は全く屏息せざる可からざるに至つたが、舊縣會議員及び社會民主黨員は盛に暗中飛躍をなし、何時變亂を見るやも測り難い狀況にある。記者は縣コミサール、ゴツテンベルゲンを訪問したが其時彼は、トムスクにある二千の將校團は廉潔なれども將校團の力を以て鎭壓し得るも誘惑され易い、然し彼等の秩序は…チエツクの向背如何は、オムスク政府の運命に重大の關係を有する…喚聲を發してゐた。將來オムスク政府倒潰せば次いで現はるゝはトムスクの社會黨政府か、否らずんば第二、第三のコルチヤツクであらねばならぬ。

財界の新舊人(16)

西海生

龜嶋豊治君 鮮銀檢査役

現在鮮銀の幹部中全鮮經濟に關する意見の最も要當にして多種多樣なるは、檢査役龜嶋豊治君であらう、苟くも財界の問題ならば如何なる方面にも君は大なり小なりの智識を有つてゐる、或は其中には疑いものもあらう、然し君の如く萬遍なく知り、君の如く萬遍なく働かせ得る人は少いのである

▲これは君に飽くなき研究心の賜ものであり、自分でもよく語るが、人言を聽くに吝かならぬ故であらう、君は又中正な批判眼を具へ、問題に對して興味ある見方をする人である、愛知縣の人、明治三年生れ本年五十歲となる、然し中々元氣で子供のない故か氣は老けず、年齡より若く見ゆる、鮮銀の同輩にもピンからキリまである、君は中々高級の方で、本店中三四位を下らない、檢査局長は調査局長の井内勇君が兼てゐるけれど、君は經歷より見るも、資格や伎倆より見るも局長格の人として行内の推稱を受けてゐる

▲明治三十年の京都同志社出身、前々總裁の市原盛宏君が、在世中は同學の關係もあり、稍得意らしかつたが、その歿後稍不遇だと言ふ人もある、然し事實は必ずしもさうでなく、市原君の晩年時代に元山支店長、その後仁川支店長に榮轉し、昨年本店の主席檢査役に轉じて來たのでも知れる、第一銀行には學校を出で、間もなく入り込み、爾來鮮銀に引繼がれ今日に至つたもの、本店では文書課長の椅子を占め支店は木浦元山仁川と長く勤めた人だけ、銀行家としては老熟の境に入つてゐる方だ

▲君の檢査役轉任を知つて、君の友人たる市中の某銀行家は云つた『龜嶋君の檢査役は適任だ、なぜならば君は鑑定の細かい人であり、又何事にもよく氣の附く人だからである、唯君一流の檢査をされては、各店の連中は一寸弱るだらう』と云つてゐた、此の鑑定に細かい人と云ふ事は、往々君の不評を買ふ所以のやうであるが、銀行家の中には斯種の人も少きに非ず、何しろ堅實な背質を有する方だから、五月蠅い流儀の者より見れば餘程手堅い人に見ゆるであらう

▲此の手堅いと云ふ事は、銀行家に缺くべからざる一資格ではあるが、最近君が元山支店長として、仁川支店長としても相當の成績を擧げたのは——思つた事は遠慮なく云ふ人だけ多少反感を君に抱ける者はなきに非ずとするも——手堅い歩み方をしたためであらう、鮮銀株の二百餘も有つて居り、中々の資産家だと云つて溜込み一方の人のやうに云ふ者もある、然し君の如く頗る多からぬ高俸を取り、子供のない生活をしてゐれば、自然餘裕を生ずるのは當り前であらう

▲君は下手ながら義太夫は中々熱心、自稱大狗の方である、機會があればやりたくてならぬらしい、然し多くの場合聽き人から遠慮されてゐる、京城では目立たぬが、仁川や元山の支店長時代、君の散歩は必らず若い美しい夫人帶同でなければ承知が出來ぬとあり、よく社交界の問題となつてゐた、君の夫人は活潑な方、何でも往年君と同列で金剛山探勝に赴き、萬物相の險を冒して頂を極めた、内地婦人として萬物相の絕頂に上つたものは龜島夫人を以て嚆矢とする

本紙定價 一部金參錢 壹箇月七十五錢 ▲三箇月前金貳圓…▲六箇月前金…▲壹箇年前金…
廣告料金 五號活字…一行…
發行兼編輯人 奥田…
印刷人 小川三之…
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 …

白熱的歡迎 貳號出來

鐵十

模範的青年雜誌

最新式小形 充實せる内容

卷頭 世界民族地圖 是れ最新世界地圖の基礎

—新人の新天下

◇ジョッフル將軍(代議士擱切)
◇老人凋落の時…大東慶大
◇曉鐘を撞くは誰?…田中教授
◇老先輩を感化せよ…佐々木博士
◇風雲を捲起せ…澤柳博士
|青年に代りて…建部博士
講和使節に要望す
◇新兵さんの一日…宍戸左行
漫畫 紀行 朝鮮服…大町桂月
▽隠れたる世界的日本人 ▽ヱルサイユ宮殿鏡の間 ▽食物の味 ▽番ご翁…稻垣…
◇外交戰の大立物 講和評論…
◇カイゼルを弔す…
獨探の暗號 探偵ロマンス
海底無線電話 潜水艇による…島田博士
軍國主義と青年 陸軍大臣 田中義一
故松下大佐の貴重なる遺稿
地中海に獨帝陰謀の策源地を探る
◇活動地の西伯利鐵道…井上工學博士
◇講義錄の活用…遠藤文學博士
▽梅が香の研究…内田博士
▽寸景士…和田博士
▽冷語熱語 ▽史上の講和會議 ▽シクジリ博士 ▽現存名士の後裔
◇現代諷刺 醜男の失策
◇番店巡り 三越の徒弟
日本飛行郵便案 提 磯部鉄吉
實驗 心臟強健法…原田
漫畫 時事 議員列傳…岡本一平
廿世紀の霸王米國
▽最新世界人名辭典▽寸鐵懸賞
◇視力の價値 理學博士 松下禎二
◇天草四郎 秘史外史 廣田花崖
◇山田長政 史外 池田林儀
定價金拾五錢 郵稅金一錢
東京 株式會社 博文館 振替東京二四〇番

男女 情の手紙
▲艶麗悲痛の文
本書は有名なる美文家…が其心血を絞りたる愛と涙の手紙…にして綿々として盡きぬ情緒…たる情火の熱きは言々句々人の肺腑に徹し一讀千行の熱涙を催さしむ▼今回五百部限り特價六十五錢(菊半二七〇頁)として尚此際注文者には平かな習字手本を無代添付進呈す希望者は新聞名記入注文されたし代金引換送料實費で送る
▲前金注文は送料不要
東京青山南町六丁目 振替東京二七四七番 有教社

四千圓 六千圓
…新債券を得むには 七十一回
二通一組貳十二圓 三通一組三十六圓 一通賣は十一圓 送料當店負擔
來月七日(六十七回…)
神戸鹽崎商會 大阪十八番 電話長三本…振替…

軍馬拂下公告
牡馬約五十頭
右本月三十一日午前十時ヨリ在釜山臨時軍馬檢疫所構内ニ於テ賣拂ス詳細ハ當所ニ就キ承知スヘシ
釜山臨時軍馬檢疫所
注意 購買希望者ハ當日印鑑ヲ携行スヘシ

京城日報編纂 最新書式大全
本書ハ…第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部…▲第五部…▲第六部…▲第七部…▲第八部…▲第九部…▲第十部…
各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動産及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ、度量衡、特許意匠商標、實用新案、市場、水産、農林、銀行、鑛業…內地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ヲ知悉シ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携
定價…

北海道產 雜木各種荷着
鴨綠江產雜木各種
洋家具材並に洋家具の調製に應ず
雜木各種 販賣 製材販賣
朝鮮京城黃金町一丁目 本明雜木店
電話長三一七五番 振替京城元七三七番

船主及船員ノ爲
▲船舶職員受驗者指針▼
遞信局仁川海事出張所長 熊野惠賜氏序文
遞信局仁川海事出張所 海員審判所審判官 稻森丈夫著
自己ノ權利ト義務トヲ知リ進ムテ高等海員トナラムトスル船員ハ必ス本書ヲ座右ニ備ヘラルヘシ、内容目次ノ一節、一編、船舶登錄及測度、船舶艦札、船舶ノ種類、噸數、國籍證書、二編 檢査及檢査執行地ト費用、檢査ノ準備、船舶ノ資格ト航路ト必要海員、三編 檢査令ノ適用ヲ受ケタル船、船舶ノ權利、義務、四編 船舶職員、定員表、受驗者履歷表、試驗科目、船員ト船長ノ職務、義務、船舶輸移入税、噸税、開港出入、水難救護、沈沒品又ハ漂流物ハ如何スヘキヤ等 海上衝突豫防法、
四六判約三百頁 定價八十錢 郵稅二錢
發賣元 巖松堂 京城太平通リ 振替京城三〇〇番
合資會社 京城日報社代理部

二月號 新家庭
■長田幹彦氏の時雨唄
目下都鄙至る所の大問題になつてる長篇小說です。東京某富豪の家庭悲劇を材料にしたもので、大正の新「不如歸」と呼れて居ります。本號から愈よ佳境に入り養父の醜さが如實に寫し出されました
■美と云ふ事を主とした口繪と寫眞
舶來光澤紙へ印刷した寫眞畫報三十六頁には全國上流家庭の花の如き夫人令孃が滿載されて居ます。表紙は田中良氏の東京新名所圖繪。口繪は伊東深水氏の時雨唄圖繪で、時事新報が婦人雜誌中の出色と推奬した繪き畫には今度特に水島爾保布氏の京都府立第一高女の寫生を收めました
■生命保險の話…筱原吾市
■人爲の花の盛り月…篠原最好園
■西洋風の髮の手入…秋山紅子
■雪だるま…竹久夢二
■S子孃の芝居見物…中西立亭
■新舊女袷合せ…吉岡島平
■黑い與襟と裙の色(流行)…すゐせん
■私の心に殘る姿(流行)…平山蘆江
■婦人身嗜みの祕訣…尾山みさを
■晴衣の整理と汚染脫き…山下柴郎
■支那情話反魂香…下田歌子
■歷史小說並頭の花…渡邊霞亭
■家庭童話觸るな山…巖原宮雄
■北白川宮殿下の御事…芳川越
■私の理想とする女性…吉岡彌生
■白岩龍平夫人を訪ふ…岸田しづ子
■臺所科學カキの話…理學博士岸上鎌吉
■料理屋の料理…岡野知十
■新案の西洋菓子…奥村たつ子
■肥えた人の攝食法…片山秀雄
▲一部四十五錢 送料三錢
■東京芝公園 電話(芝)六六九七番 振替東京一四一七七 玄文社

第四十一帝國議會

貴族院（二十七日）

▼國葬費可決

廿七日午前十時開會、諸般の報告後日程に入り議員請暇の件を可決し次いで政府提出衆議院廻附の大正八年度李太王殿下國葬費追加豫算案を上程す徳川議長原首相を麾くや

▲原首相 登壇、首相は謹嚴なる態度を以て衆議院に於けると同様の演説を試み滿場の協贊を希望して降壇するや之に代りて

▲高橋藏相 登壇、追加豫算として李太王殿下國葬費十萬圓支出の件を提出し前年度剩餘金より支辨する旨を述べて降壇するや淺野侯則氏の動議にて直に本案を豫算委員總會に附託する旨を可決同十時十五分休憩、斯て豫算委員會は滿場一致原案を可決し同十時三十分再開哀弔決議案提出の報告あり淺野侯則氏より日程變更國葬費豫算議事を開かん事を提議し異議無く可決議長淺田豫算委員長を麾く

▲淺田徳則氏 登壇、豫算委員會は李太王殿下國葬費豫算案に就き直ちに審議全會一致何等異議無く哀悼の敬意を以て原案を可決せりとの報告あるや

▲前田利定子 登壇、本員は李太王殿下國葬費豫算案贊成の意見を述ぶ可く此壇に起ちたるを悲しむ殿下の薨去に就ては哀悼痛惜の情に堪へざるは固より乍ら畏くも上 陛下に於かせられては深く御軫悼あらせられ直に世子殿下をして歸省せしめ父子の情を盡さしむ可き御沙汰あり更に又特に國葬の禮を賜ひ萬事非常に執行ふ可き御沙汰ありたるやに洩聞す斯迄に皇室に於かせられ御手篤き思召あるは恐懼に堪へず定めて各殿下は素より朝鮮にある貴族一般臣民も 聖旨の優渥なるを拜聞し感涙に咽ぶ事なる可く八道の山河も我皇室の至大の恩徳に靡くは言迄もなき事ならん惟ふに國葬の禮は皇族に對しても常に賜ふ者に非ず國家に勳功あらせられたる皇族及國家の柱石たる功臣に賜るものにして我皇室と李王家とは併合前より御交際極めて親密なりしが併合後は特に御親愛厚く世界に對し皇族に準じて待遇する旨を宣せられ宮中に於ても國家に於ても皇族と御待遇變りなきのみならず世子殿下には皇族と御婚約なり日ならず之が御式を擧げさせらるゝ都合に運び居たるに此事ありしは悲しむべし 陛下に於かせられては李太王殿下御生前より御功勞ある皇族と同様に思召され國葬の御沙汰ありしこと拜察し奉る熟々併合當時を回想すれば李太王殿下が世界の大勢を察せられ明治大帝が東洋の平和と朝鮮の福利とを御念じ給ふの深慮を體せられ御英斷に依り和平融熙の今日を來せるは申す迄もなきことながら亦李太王殿下が我皇室に信頼し滿腔の誠意を以て御贊助あらせられたる力與りて大なるは之れ又申す迄もなし我國民は此の間の殿下の御苦心を拜察し御盛徳に對し忘れんとして忘るゝ能はざるものあり以下述べたる殿下の御盛徳と御聰明とは又次の事實に照合して之を知るを得べし第一殿下御退位後の御動靜なり殿下御退位後は專ら現状に安んぜさせ給へ徳壽宮中春風駘蕩裡に太平の人とならせられ聖恩の餘澤に浴するの外何等の事なかりしは一見他の奇なきが如しと雖も是は今日の和平融熙を促進するに於て重大なる功果を齎らせるものなりと信ず第二世子殿下御幼少なりしに拘らず伊藤公の進言に信頼し御寵愛の世子殿下を我手許より遠く放し文武の道を磨かしめ今日にては世子殿下を我近衞の一武官として國事に王事にも盡さしめらる、事第三世子殿下梨本宮女王殿下と御慶事終了後は親しく 陛下に御禮言上の爲め御東上の御志しありしやに承はる然るに御痛ましき哉花嵐の御志しを遂げさせらるゝに由なく遽焉として薨去あらせらる斯くの如く皇室に對し有せられし御誠意と御敬禮とは上 陛下に於かせられ此の禮を賜ひし又謂ある哉と感激に堪へず政府が 聖慮を奉體し國葬費の支出を提出せしは至當の措置と信ず冀くば本會議に於ても全會一致可決哀悼の意を表せんことを述ぶ斯くて議長は贊成者の起立を求め全會起立確定次に哀弔決議案を上程す先づ書記官より哀悼の案文を朗讀し次いで

▲黒田長成侯 登壇大勳位李太王殿下薨去に就き哀悼の至りに堪へず御病氣の報を得御平癒の速かならんことを祈りまつりしに此の事あり世子殿下御慶事も近づき居たり折柄李王家梨本宮各殿下の御愁傷拜察に餘りあり本員は嘗て故殿下に親しく謁せること屢々あり當時の御物語りの中に東洋の平和を確保する上に於て帝國との和親に就き最も心を注がれたりし次第を拜聽し記憶に存す殿下の聰明温容今尚眼前にあり殿下は天資仁厚徳澤に就ては夙に拜承す殊に前韓國統御の地位にあらせられ李王殿下に御力を添へられ極東の將來を慮られたる御功績は國民の永く感謝するところなり皇室に於かせられても皇族に準ずる待遇を賜はり大勳章を授けらるゝ今や薨去の報に接し上 陛下御軫悼あらせられ恐察に堪へず貴族院は謹んで哀悼の誠を表するを至當と信ず全會一致を以て可決せられんことを希望すと述ぶ斯て本案は全會一致を以て可決し更に日程に戻り借地法案第一讀會を開き鈴木司法次官の説明あり次いで鈴木盛兵衛氏は土地所有者と借地權者との間の關係に就き一二質問あり高木男の發議にて議長指名十五名の特別委員に附託し十一時五分散會せり（以下夕刊へ――東京特電）

衆議院（二十七日）

▼豫算委員總會

二十七日午前十時開會下岡忠治氏（政友）の農相質問未了の分續行の筈なりしも農相貴族院出席の爲め議定を變更し

▲小田切磐太郎氏（政友） 起立兵士の教訓に服從を第一とせるも服從を強ふるは弊害あらざるや如何と問ふ

▲田中陸相 軍隊は服從のみに依りて統率されず上下の間に温情を要す今回の大戰に鑑み一層緊張せる教育に努めんとす此點最近特に師團長會議に訓示したりと答ふ小田切氏近に破廉恥罪に處せられたる者を兵役に服せしめざる事に徴兵令を改正する意思なきや、之に對し陸相は徴兵令改正案を提出する事となり居れば考慮し可しと答ふ此時山本農相出席下岡氏未了質問を續行す

▲下岡忠治氏 六百萬石の外米を輸入せざれば米價調節不可能と認む政府の所見如何又外米を商人の自由輸入に放任し置くは可なり政府は何等之に就き方策を講ぜざるや此際思ひ切りて管理の意無きやを叩く

▲山本農相 不足米は先づ四五百萬石ならん商人の手に輸入自由ならざれば政府之に當るやも知れず管理令も或は適用するやも知れずと答ふるや下岡氏更に酒造制限の説ありしも實行されざりしは如何又澱粉其他の輸出制限說は當業者に對の爲め實行せざるやに聞く果して如何由來農相酒造制限說は與り知らず澱粉の輸出を禁止する考へ無しと之にて下岡氏の質問終了せしが氏は更に予は徒らに政府を攻撃するものに非ずと冒頭して二三の對案を述ぶ次いで

▲小田切氏 再び質問を繼行す物價調節の根本策は即ち金融の振はざるは金融不圓滑に在り宜しく農工銀行をして五分利にて融通せしむ可しと述ぶるや

▲山本農相 政府は開墾助成法案を提出す可し本法は年六分の利子を補給し八箇年間に二十五萬町の開墾を爲す豫定にて東拓の如き會社を組織する計畫なるが未だ決定し居らずと答ふ小田切氏近來中央の地方に對する寄附金增加は農村を苦むること大なり宜しく政府の節約を望むと述ぶ右に對し

▲床次內相 は成可く御希望に添ふ樣努む可しと答ふ更に小田切氏實業補習教育に就き文相に質す所あり文相の答辯あり午後一時廿分一先づ休憩（以下夕刊へ――東京特電）

◇國葬儀員發表

廿七日李太王殿下國葬儀掛長以下任命發表されたり（東京特電）

國葬儀掛長 山縣伊三郎
同次長公爵 伊藤博邦
同 伯爵 李完用
同總務掛
內閣書記官長 高橋光威
內閣書記官 下條康麿
拓殖局 官 古賀廉造
宮內書記官子爵 仙石政敬
李王職次官 國分象太郎
朝鮮總督府內務部長官 宇佐美勝夫
同中樞院顧問子爵 趙重應
同警務總長 兒島惣次郎
同 子爵 宋秉畯
同儀式掛
式部次長 伊藤博邦
式部官 岡田平太郎
掌典 佐伯有義
朝鮮總督府通譯官 藤波義貫
同 武官 陸軍少將 村田信乃
同 海軍大佐 東條明次
同 警務總長 兒島惣次郎
宮內書記官 大木彝雄
同祭官長 伊藤博邦
同 副長 尹德榮
同庶務掛
內閣書記官 木下道雄
拓殖局書記官 入江海平
宮內書記官 大木彝雄
子爵 尹德榮
總務局長 荻田悅造
同 秘書官 遠藤柳作
同 秘書官 神田純一
同 事務官 工藤壯平
同 通譯官 藤波義貫
同營繕掛
同 技師 岩井長三郎
同會計掛
內閣書記官 別府總太郎
拓殖局書記官 入江海平

◇國葬勅語勅令發表

李太王殿下國葬に付二十七日左の勅語を賜ひ同時に左の勅令發布されたり（東京電報）

勅語

大勳位李太王薨去ニ付特ニ國葬ヲ行フ

御名御璽

勅令

朕故大勳位李太王國葬ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

◇國葬費御裁可

國葬費十萬圓國庫支出の件二十七日貴族院を通過せるを以て原首相は午前十一時二十分參內 陛下に拜謁仰付られ御裁可を仰ぎ十二時近くに退出せり（東京特電）

◇國葬儀協議

廿七日宮內省式部職にて伊藤式部次長、大木、仙石兩書記官其他參列國葬儀に關し會議を開けり（東京特電）

◇佛飛行將校に拜謁仰付

佛國飛行將校フォール大佐以下二十三名は廿七日午前十時參內拜謁仰付られ優渥なる御沙汰あり別殿にて茶菓を拜受せり（東京特電）

◇駐日英國大使交迭說

駐日英大使は三月中旬歸國し同時に更迭を見るべしと（東京特電）

◇朝鮮に出張仰付らる

廿七日國葬儀員中左記の如く朝鮮に出張仰付られたり（東京特電）

拓殖局書記官 入江海平
宮內書記官 大木彝雄
式部次長 伊藤博邦
式部官 岡田平太郎
掌典 佐伯有義

朝鮮に出張を命ず（各通）

◇北露首相巴里へ

北露政府首相チャイコフスキーは廿三日アルハンゲル（北露）發巴里に向へり（ストックホルム電報）

◇聯盟と委員任命

二十五日開會されたる講和會議は正式に國際聯盟創設の議を翼贊し細目決定の爲め委員を任命したりウイルソン氏は席上國際聯盟問題討議開始に就き述べて曰く國際聯盟は講和條約締結の爲めにも將來世界平和の爲めにも必要あり聯盟に對する歐洲の感情が二三講和條約締結にのみ集中し居らば米國の人民は其の希望充足せられざるを發見して後悔すべし（電報）

◇日支協約改正要求

支那代表者の公式陳述に據れば支那講和委員は講和會議に於て千九百十五年の日支協約の改正を要求すべく其理由は原則に於てブレストリトウスク條約及びブカレスト條約に等しと云ふにあり（紐育電報）

◎鮮農滿蒙移植策（三）

滿鐵地方課技師 照待初郎氏談

鮮農滿洲移植の方法に就ては大略之れを述べたるが移民村落經營の方法に就きて予は特に現今滿蒙に建設する村落の自治的經營上缺く可からざる要項を略叙すれば

▲行政的施設 として村落の耕耘地域一箇所の面積は成る可く大なるに如かずと雖も少くとも一萬町歩以上と爲し之れに三村落の建設を最少標準とし各村落を散在孤立せしめず一村落の戸數五百戸を最少限度とすべきも自ら數個の部落に分たるゝは已むを得ざるべし而して內地農を中心として鮮農を包容するは種々の點に利益あるべく大農一割中農二割小農七割位を標準として配合するは進歩並に調和統一上利便多かるべし各住宅及び其他の公共建物と各種

▲土地の配分 とは實地に依り深く攻究を要する事柄なれ尚ほ村落の保護は最も意を用ふべき處にして即ち野荒しと馬賊とは滿洲名物の一なれば各植民部落は自ら保護の方法を講ずるを要す支那警察の如きは到底恃むに足らざるを以て各戸に銃器彈藥を常備せしめ銃器は東拓より貸與し彈藥は實費にて配給することし村落中の在郷軍人をして之れが指揮監督を爲さしめ事實に於て屯田制度に倣ひ常に四近を威壓して賊の襲來を未發に防ぐを良策とす現に支那部落に於ては保衞團を組織し一致協力自衞の途を講じつゝあり又學齡兒童には少くも義務教育を施すべきは言ふまでも無く高等小學程度の實業

▲補習の教育 を施す事を得ば之れを學校と爲す方法を執り創立費並に教師の俸給は會社之れを負擔すべく鮮支兒童は內地人兒童と共に日語教育を以て一貫し青年會夜學會等少壯者の教養風紀に關するものは學校の附屬として教師の如何に由ては組合又は農會の業務を助けしむるも可ならん

◎京管本年豫算 收支共に膨脹

大內經理課長談

本年度滿鐵京城管理局に於ける豫算は未だ各課並に工場に於て審議中に屬するもの多く經理課に出揃はざるため確言し難きも概して云へば收入支出共に之れを七年度に比し增加を見るべし

▲收入豫測 運輸收入は七年に於て概算一千六百萬圓を示したるが八年はその幾割增となるべきか一割なれば約一千八百萬圓となるが二千萬圓と觀るは稍過當なるべし唯機關車四十輛の增加運轉により輸送力は之れを全體より觀て約二割の增加となるため此の方の收入も自然的輸送繁忙の增收により或は存外の好況を呈するやも計り難し又每年の旅客の附加率を見るも大正四年度より六年度に至る三年間に於ける推移は四年約五百萬人五年五百三十萬人六年七百萬人にして七年度にても此比率以上に增加し居るに付八年も依然として增進すべきものと見て可ならん

▲支出膨脹 營業支出の方面は八年度に於て最も著增を豫期し七年は物價の最高騰時代なるも多くの材料は六年に買集めたる事とて比較的安値のものを使用するを得たり然るに八年は諸物價漸落の大勢にあるにも拘らず容易に下落せず券銀の如きは反つて高騰せんとしつゝあり然も諸材料は七年の昂騰時代に購入せしものを用ひざる可らざる不利あり經理當局として予等の苦心する所なるが要に角收益は七年に比し減ずる事なかるべし

議會傍聽席（貴族院 二十一日）

▲例によつて徳川議長が書記官長を從へて着席、早速書記官が報告を始める、原首相が多少微醺を帶びた顔をして入つて來て議長席に向つて左の大臣席の最右端に腰を下す、直ぐ左手をポケットに入れて右の手で頰杖をつく、書記官長が傍によつて何やら耳打をする。首相の隣に內田外相、高橋藏相、加藤海相、田中陸相と順に行儀よく並ぶ右側の大臣席には大塊翁三人前もある巨軀をフロックに包んで山本農相、床次內相、中橋文相の順にあるツラリと政府委員が大入滿員の盛況に並んで正面の舞臺が決まる朝鮮總督府の鈴木內務部長なども左の入口の扉を背にして立つて御座る傍聽席も大入滿員で東席には總督府の神田秘書官の顔も見える

▲加藤高明子が右の手に洋杖をつきさうな恰好をして五ツ紋で入つて來て第四階目の中央の座に著く。原首相が演壇に立つ。コップをとつて口を注ぐ、議席から一寸擲が起る。首相は底力のある、尤らしい、そして訴へるこい調子で朗讀演說を進める。「締盟諸國との交際は益々親厚を加へ」あたりに來ると右の手首を徐ろにツボンに入れて一寸行儀の惡い眞似をする。演說が終ると右を心持ちだけ下てサッサと席に復した聲で抑揚のない本式の朗讀を讀みやる。議席には一しきり咳の聲が騷がしい。首相の演說が始まつてから作りつけの金佛のやうに身動きもせずきいてゐた加藤子がそろ〳〵腕組みを解いて肘を卓の上に投げ出す。チェック援助の說明あたりに來ると中橋文相が紙切れに何か書いて床次內相の前へ廻す。內相がわざ〳〵懸けてゐた眼鏡を外して見入つてゐたが隣の山本農相へ廻す。農相今度は外してゐた眼鏡を懸けて一覽の後野田遞相に廻す。遞相はそれをこつてウンと反り返つて眼鏡から三尺ばかり離して見てござる『對支借款は動もすれば』のあたりへ來ると今迄首を振りながら聞いてゐた後藤男が突然何か隣席に話しかける。加藤子は無遠慮に左の手で頰杖をついて右の手で鼻の穴をほじつてる

▲一騎打の先陣に仲小路前農相、鋭く詰よつたが、心得たりと山本農相受け流したところは前電の通り（東京支局）

○日韓産業會社支店認可

高橋三平氏より申請中なりし蠶業並に製絲販賣を目的とする日韓産業合資會社の支店を慶尚南道蔚山郡に設立の件は一月二十五日附許可せらる

◇……鳥瞰錄……◇

此の間西伯利から朝鮮を通つて東京に歸つた內山侍從武官長は寡默にして極めて謹嚴な武人である▲龍山に著いて夜の汽車で立つたが、軍司令官の官邸でバスをつかい『好い氣持ちだ、三十日目の入浴だよ』と軍の副官を顧みて語つてゐたさうな▲それでは西伯利の守備隊には風呂はないかと云へば、さうではない唯武官長は重任を拜して出征軍の慰問をなす內、若し風邪でも引いて大任を果されぬやうの事があつては 聖上に對し誠に恐懼に堪へぬと云ふ考へから、一浴をも試みなかつたのであるらしい▲釜山に朝著いたが、風波のため連絡船は出帆せぬ乃で大將は一日を釜山ホテルに送つて夜の船を待つた▲その間釜山の有志は武官長に東萊一遊を勸めたが 陛下に復命前保養的遊浴を試みるは衷心忸怩たるものありとの考へよりか終日ホテルで靜に時を過ごして東萊行きを肯んじなかつたさうな▲二十七日朝西伯利より入城した某將軍は曰く『吾軍の出征當初は言葉も通ぜず、露人との間に意志の疏通を缺いでいくらか圓滿でない點もあつたらしく、某國兵の齒切れよく金を撒じつゝ進めるに比して劣れるやう思はれた▲所が最近吾軍の一絲紊れぬ軍紀の整然たるに引きかへ、某國兵は段々ボロを出し來り露人の信受け全く地位を變へて來た』と

◇過激派露都撤退準備

過激派は露都撤退の準備中なり同派官憲公所等は總て莫斯科又は[illegible]

○後場更に高値

仁川期米市場 二十七日の仁川米後場は前場の[illegible]

○地査委員會

高等土地調査委員會[illegible]なき限り變動は明し難からんと[illegible]致を以て原案を可決せり因に同[illegible]

◎玄海荒る

又も連絡船欠航 [illegible]

下關期米特電

二十七日後場（大阪要求打歩）

當限 中限 先限 [illegible]

仁川期米

▲二十七日後場 大阪電報未著なるも午前中の正米[illegible]

[illegible]

仁川米豆取引所

二十七日の三月限 [illegible]

釜山著名商店案內

釜山 島田糸店 電話五七八

內外雜貨商 長岡商店

酒精、西貢米、砂糖 壜入 瓶詰 燒酎 大豆 大豆粕 碎米 麥粉 食料品 雜貨 釜山埋立新町 福榮商會

釜山 月刊 清酒・罐詰 糖粉・官煙・ 發行 あづまや商店 電話三五九番 振替京城三九番

京日案內

代診看護婦及見習生採用 志望者は至急申込ある可し 京日仁川支局

◎古物高價買入 ◎店頭勉強 ◎注文品應 黃金町三丁目 電話一八六二 關根古物店

看護婦及見習看護婦入用 希望者來談あれ 仁川小倉內科小兒科病院

古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店

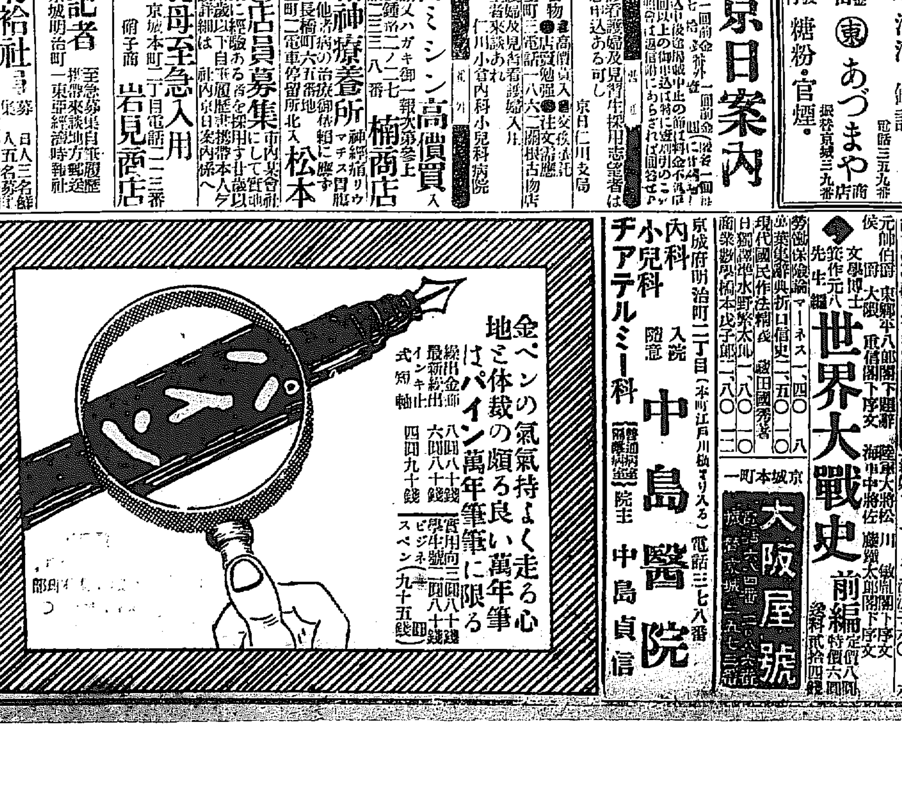
精神療養所 神經痛リウマチス胃腸病其他諸病の治療御依頼に應ず 京城長橋町六五番地 黃金町二電車停留所北入 松本

◎店員募集 商業に經驗ある者を採用す廿歲以上卅歲以下自筆履歷書携帶本人來談詳細は社內京日案內係へ

乳母至急入用 京城本町二丁目電話一二三番 硝子商 岩見商店

記者 至急募集自筆履歷書携帶來談地方希望者も可 京城明治町一 東亞經濟時報社

有給社員募集 日給三名 入五名募集 月二十圓以上六十圓迄外に歩合補給 希望者前十時より十二時迄來談 京城黃金町 日本生命出張所內 青木



金ペンの氣氣持よく走る心地と体裁の頗る良い萬年筆はパイン萬年筆に限る

總出金筆 八圓八十錢 / 最新總出 六圓八十錢 / インキ止式 / 短軸 四圓九十錢 / 實用向 三圓八十錢 / 學生號 二圓八十錢 / ビジネスペン（九十五錢）

內科 小兒科 入院 隨意 チアテルミー科 （普通病室 別病室） 京城府明治町二丁目（本町江戸川橋より入る） 電話三七八番 院主 中島貞信 中島醫院

最新刊

元帥伯爵 東郷平八郎閣下題辭 文學博士 大隈重信閣下序文 海軍中將 佐藤鐵太郎閣下序文 笹川臨風先生編 世界大戰史 前編 定價八圓 郵稅四拾錢

ミュッセお伽噺 魔法府 奧野 七〇 八 / 三國一の花嫁 一、一〇 六 / 隅田川 達摩の足跡 一、〇〇 八 / 結婚ローマンス 久保田高太郎 九五 一〇 / 戀の日 流浪子 六〇 六 / 勞働保險論 マーネス 一、四〇 八 / 英華漢辭典 折口信夫 二、五〇 一〇 / 現代國民作法精義 藤田國秀著 一〇 / 日獨諸地 水野繁太郎 一、八〇 一〇 / 商業數學 橋本戊子郎 一、八〇 一二

京城本町一丁目 大阪屋號

原木新荷着!!!

豆滿江 鴨綠江 産 紅松良材 長二間、三間、三間半、四間 多數 京城著荷

豆滿江材ハ特ニ良材ヲ撰リタルモノ目下續々元山海岸到著仕居リ候ニ付遠地ノ御注文ニ對シテハ元山ヨリ直送可仕候

右薄利商談可仕候

原木各種 杉林廠製品 建築土工用木材 足場丸太 內地材各種

京城府岡崎町 須川材木店 電話一〇四番 振替京城二〇八〇番 出張所 安東縣一番通 電話四〇五番

萬年ペン修理と販賣 振替二一三番 電話二五二七番 京城本町 ウツボヤ眼鏡店

皮より強い 柳製專賣トランク 鞄製造販賣 御注文により如何樣にも調製可仕候 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話二五四番

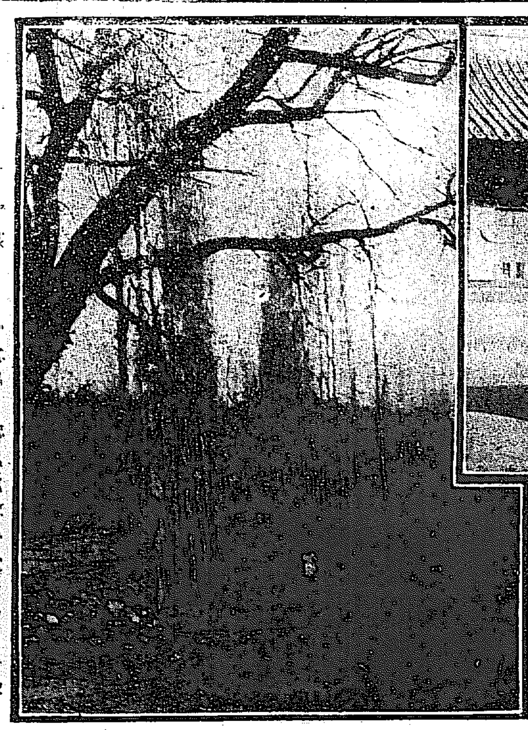
◎御葬儀日取

三月五日と內定す
御準備の都合により夫より早くは執行されぬ

李太王殿下の國葬は御準備萬端の都合により二月中には到底執行らるゝ事六ヶ敷かるべく多分三月初旬となるべしとは二十七日夕刊に記載したるところなるが是について某貴族は語つて曰く『御葬儀の日取は目下御親戚貴族、閔長官、國分次官、祭祀課長、地相官等が集まつて協議中であるが御準備の期間を見た上に地相學の方からも研究せねばならぬので却々六ヶ敷いらしい

▽今の處如何に急いでも御準備に一箇月は懸る見込であるから如何に日柄が好くても此一箇月の內では到底御葬儀を營む事は出來ない、彼是照し合せて見ると來る三月五日(舊曆二月四日)は御葬儀の日取として最も適當である、夫から先になるとズツと後でないと日柄の好い日がないのみならず餘り遲れても面白くないと云ふので大體同日を以て御葬儀を行ふ事に內定して居るやうである、然し最後の決定權は宮內省に在るので此方は唯協議の結果を參考乃至希望として述べるに過ぎないが宮內省とても此方の御都合を考へねばならず多分此方で內定した事は宮內省で最後の決定をする上に非常に有力なものとなるであらう、言葉を換て云へば

▽宮內省も三月五日を以て御葬儀を行ふ事に何等異議はなからうと思ふのである、尙國葬の際閑院宮殿下が御名代として御渡鮮遊ばされるやに傳へられて居るが吾等の仄聞するところに依ると同殿下は三月頃には御渡歐遊ばされるので到底御渡鮮は御困難であらうと云ふ事である、夫で御名代には王殿下を御差遣遊ばされるやに承はつて居るが是は時節柄有理な事だと思ふ』



(右)御殯殿前の廬幕　(左)李太王御墓所々在地金谷里の風景

◎痛々しき御成服

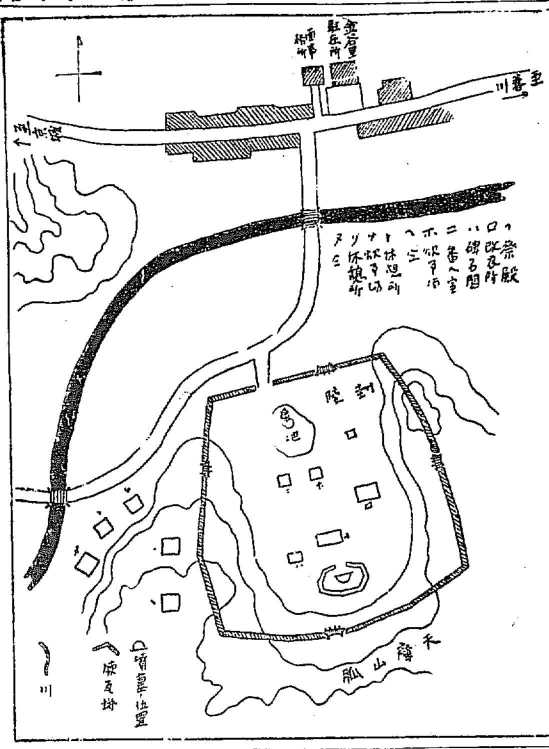
廬幕の中の兩殿下
碌々御食事も召されず

成殯、成服の儀を行はせられたる李王、王世子兩殿下には御哀悼一入深く御憔悴の樣漏れ承るだに痛々し。兩殿下御成服の際は一般服喪者同樣麻布の頭巾祭服を著け麻鞋を穿ち青竹を杖づいて廬幕の中に敷たる荒莚の上に御著座あり絕えず草枕に突俯して悲嘆に沈ませられたり式後李王殿下は咸寧殿內の九如堂に、王世子殿下は同じく咸有齋に引籠らせられたるが成服後は殿內の器具、裝飾等總て純白無垢なる物のみを用ひられ邸內更に新たなる感を覺えしめたり、而して兩殿下には非常の御愁傷の餘り碌々御食事も召されず偶々御食事の折には朝鮮の習慣に從ひ罪人同樣脚無しの食膳を用ひられて少量の粥を召さるゝやに拜聞す。

◎李王殿下御感激

李王職發表＝故大勳位李太王殿下の葬儀は特旨を以て葬儀係りを置き其費用は國費を以て支辨すべく仰出されたる旨原內閣總理大臣より閔李王職長官に入電あり長官は直ちに李王殿下に其旨言上したるに殿下は聖恩の優渥なるに深く感激あらせられたる旨總理大臣に宛て答電を發したり

□故李太王殿下御墓所附近略圖



◎工事に忙しい德壽宮

哀しみの裡にも德壽宮內は日一日と繁忙の度を加へて行く。咸寧殿の前には光明門の方に向つて數日前から廊道の

◇新築を始めたが最早や骨組みだけは出來上つてゐる。之れは葬儀當日咸寧殿から靈柩を渡御させる爲めに俄に工を起したのであるが多數の人夫が日夜工を急いでゐるから近く竣成するであらう。それから羅布が盛んに宮門から搬び込まれ

◇祭祀課 などにはそれが山と積まれてゐる有樣であるが是は葬儀當日千數百人以上にも上るべき人夫に被せる喪服の材料だとて、斯んな風で德壽宮內には澤山の人夫が入込み爲めに門內には內外兩樣の仕出屋が設けられてゐる

◎儀仗兵一個師團

國葬儀の際附せらる可き儀仗兵は朝鮮駐劄軍より約一個師團海軍は鎮海灣在泊艦より之に當てらるべし(東京特電)

□歌舞音曲停止

廿七日より三日間

李太王殿下薨去に付敬弔の意を表する爲廿七日より廿九日まで三日間朝鮮全般に亘り歌舞音曲を停止する旨廿七日總督府令を以て發布されたり

◎日二萬通

李太王薨去で激增
京城局の電報取扱數

李太王殿下薨去の旨發表せられた廿二日の京城局電報取扱數は一日二萬を越え年末年暮の大繁忙期とした樣な譯で電信課に於ては恰も戰場の如き觀を呈したそれ以來電報は今尙ほ續き二萬を下らず此の事であるが尤も此內には追ひ〱迫つて來る舊正月を控へて居る事とて鮮人商取引上の電報、賀狀多く係員は不眠不休の狀態である

◎退役憲兵大佐檢擧さる

退役憲兵大佐茂木某(五〇)は拘攝の親分中立某の乾兒と結託し故賀子陸文書僞造背任業務橫領等の犯罪にて京都地方裁判所にて檢擧されたり(京都特電)

◎一日廿圓也

巴里の滯在費
◇一圓半で粹な巴里料理

巴里までの旅費について語る鐵道局の某氏は更に滯在費について曰く『此度各國の使節が投じた樣な第一流處だと贅澤なものだが中流處で間代八圓食料八圓の

◇一日十五圓も出せば紳士として決して恥かしくはない中流處でも一月八圓で三食附きといふのもあれば普通處のホテルなら一日五圓の三食附きといふのもあつて茶代などのかかる日本の宿屋よりは餘程格安である、所謂日本の下宿のやうなのがあつて一日三圓乃至五圓の賄付で長逗留の人ならペンションといふ家へ寄食へる。巴里料理が味はへる、自分の經驗だと巴里に滯在して近郊を見物する位なら一日の宿料に十圓、見物料小使に十圓都合一日二十圓

◇物價の高い 今日でも十圓もあれば紳士が出來ると思ふ巴里の銀座通りに小綺麗な小料理屋があつて一食二圓半も奮發すれば粹な巴里料理が有付け巴里の情緒も味はへる』と往復の旅費に二千圓と夫に一日二十圓として一箇月六百圓、二千六百圓もあれば巴里に一箇月滯在して天晴新歸朝者に成濟まさる譯である

◎線路に落ちて慘死す

忠淸南道靑陽郡定山面普通學校長高橋敬後の妻まさは三男寬を連れ熊本縣より歸途二十六日夜大田に一泊し二十七日午後二時四十九分發列車に乘らんとする際過つて共に線路に墜ち寬は顔面を轢かれて即死したるがまさは無事(大田特電)

☘京城券番の賞品授與式

京城券番では廿七日午後二時から旭町の鳥丸で優等藝妓賞品授與式を擧行した、極彩色の券番藝者七十餘名を始め招待を受けた各料理店主、緣故者など數十名がズラリと居並んだところは却々豪氣なものであつた、席定まるや直ちに賞品授與式に移る、賞品には桐の簞笥やお召の反物など手の出るやうな品物が澤山、一等の三琴以下滿場の拍手を浴びて是を受け取つた、滯りなく授與式が濟むと引續いて新年宴會になつたが藝妓連の鼕鼕は賑くばかり盛んに箸を動かして居た、宴中奇拔な餘興の企てもあつたが李太王殿下の薨去で是丈けは特に遠慮したとは却々用意周到と云ふべし、因に二等以下の受賞者は小萬、愛次、菊子、吉奴、朝駒、仇助、吉之助、お多福、雛妓では小梅と雛太郎の二人で四時半散會お開き(寫眞は一等の三琴が賞品を貰つて居るところ)

◎舊正月の強盜

舊正月が段々迫つて來るにつれて鮮人の窃盜が殖えて來るので其筋では大いに警戒を加へて居るが廿四日夕六時頃府內鍾路通り三丁目朴道煥方へ四名の鮮人強盜が押入り主人の胸元へ刀を突付けて命が惜しくば金を出せと脅し付けたので朴道煥は五十圓を出して與へ命丈はお助けと際を見て逃げ出し強盜等が戶外へ立ち去る際其の一人を押へ付けて置きて大聲を擧げて巡査を呼んだので巡査は強盜の後を追跡して內一名を逮捕し得たが二名は遂に行衛を晦したと一般府民は十分注意が肝要である

◎ゴルフ運動場新設

京城運動界の一大驚異
教師には外國人を招聘

朝鮮に於ける運動界のオーシスたる滿鐵京城管理局にては本年解氷期を待つて各種競技界に更に花々しき武者振りを示すべく目下各選手等が一方朝鮮ホテル支配人安藤氏等と計畫に耽りつゝあるが

▲目下歐米 にて流行しつゝある新運動ゴルフを洽く全鮮に普及せしむる意嚮として京城に新にコートを新設し併せてホテル滯留外人の娛樂機關たらしむ大いに新界のファウンの爲めに氣を吐かんとて二十五日協議を遂げたるものなりと。グラウンドは龍山善隣商業學校前滿鐵所有地

▲孝昌園の 一萬五千坪を以て之に當つべく教師には該運動に熟練せる外國人を招聘し親切に教授せしむる由なるが斯る新運動が京城に移入せらるゝは誠に京城運動界の一大福音といふべし、競技は科學的組織になる極めて活潑なる野外運動にて少年少女と雖も容易に習得し興味を覺ゆるものなりと

演藝

▲大正館 廿七日より新寫眞上場、軍事活劇(司令官)全五卷、松之助、[illegible]

▲有樂館 廿七日より實寫(ユニバーサル)活劇[illegible]

◎五月場所

＝豫想番附
西の勝ち越は千葉丈で…

愈、春場所も終つて東西の星の差は五十九點、東方には負越した者は宮城山、釋迦ケ嶽、逆鉾のみで西方では勝ち越た者は十日勤めた者で千葉ケ崎丈けである、東は勝ち越しながら番附面の下る者もあり、對に、西は負越しの數で番附の上るといふ珍現象を演出する、五役に取つた者が數枚を飛んで三役に入るなどは愈以て泪福である或ひは井筒部屋が西へ廻るなどの風說もあるが兎角其儘として番附の豫想をして見ると斯うもあらうか

(東)

横綱	大錦
大關	九州山
横綱	栃木山
大關	對馬洋
關脇	常ノ花
小結	福柳
前頭	大門岩
同	駒泉
同	兩國
同	大ノ里
同	御西山
同	源氏山
同	岩木山
同	八甲山
同	字都宮
同	友ノ浦
同	宮城山
同	一ノ湊
同	綾川
同	響矢
同	釋迦ケ嶽
同	錦洋
同	逆鉾

(西)

大關	朝潮
大關	伊勢の濱
横綱	鳳
大關	千葉ケ崎
關脇	藤ノ川
小結	大戸平
前頭	若湊
同	琴ケ浦
同	矢筈山
同	三杉磯
同	大潮
同	錦嶋
同	上州山
同	黒瀬川
同	紅葉川
同	大鳴門
同	清潮川
同	白岩
同	大岬
同	小牛田山
同	鬼鹿毛
同	小山
同	阿蘇ケ嶽
張出	大の高

生儀旅行ニ付本日ヨリ約四週間休診致候

一月廿六日　松村三省

◎商議豫算會議 京城商業會議所にては二十五日午後二時より評議員會を開き大正八年度

▲備考 ニミニノブゴロドは露國ボルガ河と其支流オカ河との合點にして毎夏の市は百貨の輻輳取引盛んなり

四十八錢に…たるが場面綿貨…七錢を安値とし…の狀勢にて目下內地の商況にても

しき爲め二十七日夜入港すへき對馬丸は途中より下關に引返せり又廿八日朝釜山發も缺航の筈(釜山特電)

十錢先四十七錢に落込み八錢に打

止めたり

後場當限三而三十五圓七十錢

▲中限一節三十五圓八十錢二而六

錢二錢二錢一錢五十錢

錢四錢五錢四錢三錢一

三而五十六錢五錢四錢

平均値段

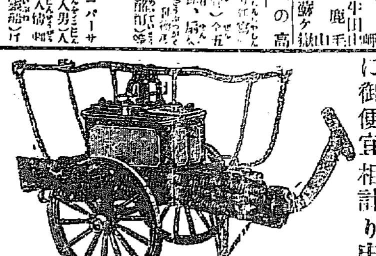
一節 三十四圓

二節 三十六圓

三節 三十八圓

四節

りん病 ばい毒 請合藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部
京城黃金町三丁目 ドラッグ商會支店
電車通り
羅南兵營前電車交叉點前同支店
物あり注意詳細八日の本紙御覽



ポンプ
消防組御新設には特に御便宜相計り申候
京城 熊平支店
振替京城二二四番
電話長三一二六五番

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田帶革
耐水調帶
バラタ調帶
定價表申込次第送呈

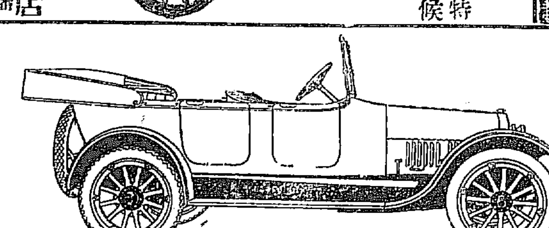
各諸大病院　賞用の本邦諸大家の推賞
ケンノウヲエキス
藥價 三十五錢 六十錢 壹圓 壹圓五十錢
京城若草町(新道路) 東洋藥房
本舖 振替京城三二一八番 電話二四一九番

寫眞 京日寫眞製版部
寫眞銅版、亞鉛版
熟練せる技術を以て最も廉價に

▼汽罐機器賣却廣告▲
ロコモチーブボイラ(移動式) 馬力10 參臺
中古水管式 ボイラ バイプ13×2.70汽壓10 貳臺
新品エンジン 横置式(シリンダ貳ケ) 馬力15—18 壹臺
モーター(電力) 馬力7.5 貳臺
起重機 五噸 六噸 貳臺
其他旋盤、鉋臺、穿孔臺、鑽穿臺、洗濯機械(專賣特許)消火ポンプ、電氣ポンプ、郵便車輪等數十種類
右近日中到著に付御入用の向きは至急御照會被下度候　敬白
哈爾賓埠頭區 東亞貿易公司支店

御化粧用 ベスパー石鹼
VESPER TOILET SAVON
大連 萬玉洋行

▲軍隊拂下被服類▲
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
營業品目 外套、紺絨服、茶褐服、防寒具、防寒用品、背嚢、作業服、下衣、各種洋服、手袋、毛布、小倉服、靴、作業用品、其他拂下品一式



ハロン號自動車
輸入元 大連 西川光太郎商店
◇經濟的!!
◇體裁優美
◇器械堅牢
◇燃料少量
◇實用的!!
朝鮮代理店京城永樂町二 榮洋行 電話長一一四七番

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十貳萬五千圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八、六八一、三〇七 振替京城一一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
南大門支店 電話四四一 振替一七〇二番
本町支店 電話一五八二 振替二九四番
仁川支店 電話一八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番
群山支店 電話六二 振替五七四番
利川支店 振替三五二番
東大門支店 電話一八六三 振替三八五〇番

眼科專門
京城若草町(新道路中程)(旭町通り若) 電一五五六
金井眼科醫院
新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

母と子 (九十二)

弱き女 (二)

北島春石作 森田久畫

『何う考へても合點されぬが……それが事實とすれば容易ならぬ事ぢや。』と、植惣は眼を瞑めてあごを保へ顔『それから、志保子は何うしたか。』

『俺よりや淸兒の奥様の驚き方は格別で、急に醫者よ藥よと大騷ぎ、こもかくもと、元の離座敷へ逆戻りしやしたが、此方も何だかきまりが悪く、尻に帆かけてその場を逃出しやした。』

『さあれば、志保子は其郞の嫁にでもなつたのかな。』

『そんな事はありやせん！何しろ淸兒の奥様こは許嫁で、志保子さんの婿になるやうな息子のあらう筈はなしね。』と、植惣は更に話をすゝめて『奥庭を飛出して仕事場へ引返したが、それが氣がゝりで何をしても手につかず、丁度、おやつを持つて來た女中を捉へ、巧く鎌をかけて探索を入れたところ、御親戚の奥様とよかりで、その先を嗅ぎ出さなかつたのが残念でさ。』

『然うか、あゝ然うであつたか。』と、宇樹は始めて組み解いた『親方の話を聞けば、その後に於ける志保子の消息ほゞ解つた。岸上家より離別されて三年あまり、彼女の苦心は尋常ならぬものであつたが、やはり最後は弱い女であつた。なあ、今暫くの辛抱さへしてくれたならば、確かに環水は鈕に還へれたものを……然し俺は決して志保子を怨むまいが、慇懃なのは今度こそ眞から片親となつた幸枝ぢや。』

『まつたくでさ。』と、植惣は拳を握つたり解いたり『俺もお孃様がお可哀さうでなりやせん。』

『お、幸枝を慇懃に思うてくれるか。』

『へい、一匹の駒が狂へば千匹の例へで、儂うぐれはまになつたのも、岸上の旦那のお心得違が原因なんでさ。』

『然しなあ。』と、宇樹は重ねて言つた『親方夫婦にもいろ〳〵迷惑を持込みながら、今になつて、志保子が他家に縁付いたこならば、こゝな恩知らずめと不愉快に感わるであらうが、決して自分から進んで再縁せぬこだけは保證するで、却つてその切ない心を察してやつてくれ。』

『へい、そいつは呑み込めてます。』と、植惣も鼻をつまらせて『ホヽまでお孃様お可愛がりなすつた奥さんが、今になつて他家へ御縁付なすつたのは、高松の野郎が脅したり賺したり、親の威光を振廻して無理往生をさせたに相違ねエ。儂うなつたら、他人ながらも今度は俺が承知されねエや、屹度あの悪魔を叩き殺してくれるから。』

『なる程、親方の氣性こしては、さう思ふは無理もないが……事を荒立てれば雙方の不和益々やで、こゝ暫らくは成らぬ堪忍をしてくれい。』

『だが、あんまり動腹すぎて落着かれねエ。儂うやつて長くお交際申してるんだから、先生だつて俺の氣性は御存じの筈でさ。』

『その俠氣に富んだ氣性を見込み、俺が改めて親方に頼みがあるが、何こ承いてはくれまいか。』

『宜うがすこも、頼まれたら越後から米搗の洒落も古いが、どんな事だつてお引受けいたしやす。』

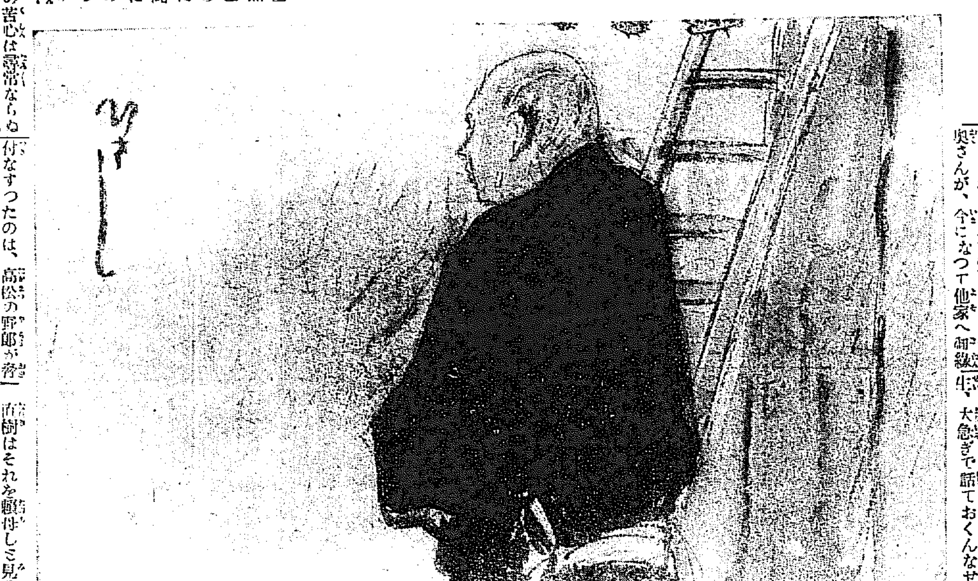
『うむ、間違ひはあるまいな。』

『御念をお押しなさるだけ野暮でさ。尤も喧嘩にかけちや日本一の名人だが、四角張つた談判事となると、まるで口を利かれねエから、何うかそのお意で。』

『はゝ、他人への交渉ならば自身で出かけるが……これは親方でなくば成功せんのぢや。』

『何だか知りやせんが、こいつは話がだん〳〵面白くなつて來た。』と、先生、ずつしり膝を乗出し『さあ、先生、大急ぎで話しておくんなせエ。』

宇樹はそれを顧みしこ見やりながら、『多少の面倒があらうが、志保子の縁付先を突止めて貰ひたい。』



◎又流行出した悪性感冒 其手當こ豫防法

悪性感冒が再び猖獗を振ひ始めた之に就いて某醫師は語る『罹病者に比例して死亡率の多いのは寒心に堪へぬ之れは所謂感冒こ云ふ

◇名稱が餘りに輕過ぎるため、人々がコレラやペストの如うに重きを置かないのに因るのだこ思ふ、先づこの悪性感冒の豫防こしてはアメリカ等でも盛んに勵行しつゝある如く(一)人込みに出る事を能ふ限り避ける事(二)咳更し者この會話を避くる事(三)夜更しをせぬ事(四)暴飲暴食せぬ事その他であるが

◇之等の實行 はなかなか困難な事で、餘程注意を要するのである、殊に日本などでは、電車の中、寄席、芝居等に危險な場合が多い、處で若し罹病した場合は如何なる手當をするかこ云ふに、第一に『安靜』が最大の必要である、なアに風邪位こ賣藥などして働いてゐるこ直に肺炎になるそして

◇嘘のやうに 死亡して仕舞ふ、罹病者中割合に多く强壯者の斃れるのは自分の體を頼つて平氣で押してゐるのに因るのである、咽喉でも痛むこか、悪寒を覺ゆるこかした場合は、直ちに安靜を保ち、醫師の診斷を受くべきである

京呉服 京都たまや出張店 明治町二丁目 電話二九六

◎簡便なスキー下駄

一間位は何の苦も無く滑走する

太い孟宗竹を下駄程の長さに切り夫れを更に眞中から眞二つに割り、踏んでも折れぬやうに緩曲した部分を削つて稍扁平こしたものへ下駄の鼻緒をスゲるこ簡便なスキー下駄が出來る

◆これは一年中の殆んど三分の一が雪の内に埋まつて居る北越あたりの雪國の子供の拵へる雪滑りの下駄で凍て著いた雪の上にこれを履いて太股に足を廣げ後の足に力を入れた上體を後方へ斜にしてつッこ滑るこ一町位の間は何の苦もなく快走する事が能きる

◆晴れた朝街路に降り積む雪の上や湖沼の凍てついた上を蜘蛛の子のやうに滑り廻つて居るが大仕掛なスキーの準備こ違ひ簡便なだけに何處でゞも容易に作くる事が能きまた使用する事が能きる朝鮮などでも此下駄を拵へて試みて見るのも一興であらう

日報俳壇

■平壤冽水吟社詠草

落葉哉 蓬左

土採りし窪に掃こむ落葉哉 同

殘照に水車光れる枯野哉 同

裏畑に葱枯れ殘る落葉哉 同

公事に集ふ丘の人數や落葉焚く 小嵐山

龍丹の花淋しさよ枯野原 同

石榴宮趾

枯野盡て石段高く仰ぎたり 六轉

常裏の落葉に遊ぶ鬼かな 同

侘くなる冬野に光る街路哉 友部

風熄めず石頭ひ居る枯野哉 同

■酒幕吟社詠草(新義)

焚火して氷採り唄靜れたり 香仙

潜漁れる數の家鴨や薄氷 同

街燈の淡き灯影や初氷 同

河尻に標らす艀や薄氷 同

水割りて米を研ぎ居る尼僧哉 同

今朝の氷を誇る牛徒哉 同

扇根葺きし藥散る初氷 湖柳

枯蓮に鳴る朝風や初氷 同

菅原に騒ける鷲や初氷 同

雨戸に滲む夜明の星や薄氷 白鷺坊

晴れし庭の霜や初氷 逸明

月寒う照せる滯や薄氷 同

インク氷りて紙に音ある日哉 同

日報柳壇

報

報國の二字を忠義の塗へ彫り 架空坊

君恩に報ぜんこて錢が無し 鴻州生

電報が解せず母親物思ひ 唐天生

出報が來て成金は歩戻り 同

報國の秋だく〳〵武者ぶるひ 艶子

不當の報酬を九州珠數繋ぎ 三貫子

電報の手段も盡きて出來心 梨軒

善惡を報じて怖い新聞紙 重[illegible]

戸迷の電報後で胸を撫で 厄介坊

迅速に報じて紙に羽根が生え 劍化

日報歌壇

○敎中の歌(鮮兒を敎へて) 貝谷 砂丘

おにごつこおぼつかなげの岸吉にわれなさそひて遊ばむといふか

いたいけの子等こかけりてうつつなく身うちほの〳〵汗ばみにけり

いさゝかの言葉ともてゐる人の子もきのふけふはやゝ慣れになれたり

放課後の運動場にうなじたれわが佐きびしきなげきせりけり

○ 仁川 蓉 よしを

静かなる暗き波間に船の灯の映ねてさみしき築港の夜更

夕闇の流れしづけき十字路を今よぎらんとする黒き羊の群れ

起重機の車のきしり寒空にひゞき渡りて夕さりにけり

夕焼けの海岸街の赤き空みあくたの如く雀が飛べり

夜の町にふるひさひらの雪にして我が初戀ははかなかりけり

假綴へて、みじみ眼鏡の曇を拭く夜けき心淋しさ

○ 淑 夫

鮮人が牛を引きつゝ通り行く曠野に冬の落陽あはしも

○友に 京城 岩田聽代子

名も知らぬ遠山白く雪ふれりわが目に涙あたらしき朝

さりげなく從ひすれど何事もひそまりてわれ涙の多し

いかにわれ十九となれるひと月なだしや天地にもの嘆かせる……悲しきこゝろか……

讀者の領分

△廿三日御座初日四の席に於て一泥醉客が一老婦に對し暴行をなし同席中の人々は非常に迷惑[illegible]

△私は一少女で御座います[illegible]何よりのすきで御座います[illegible]どうぞお願ひ致します夜は七時頃から十一時迄はかまひませんからなるたけ[illegible](一少女より)

△二十六日午後六時半頃[illegible]停留所にて[illegible]の方は[illegible]町交番へ屆けあり(好意生)

△長谷川町[illegible]角官設共用栓三七三は一ケ月の內約五日間斷水する一度破損すれば何回電話で請求するも四五日は修理せず係員に其故を正せば本共用栓は他に比して損し易く要するに取扱惡しき結果なりと[illegible]水中なり(官設共用二七三)

◎五大國打合會

巴里に於ける講和豫備會議の日英米佛伊五大國打合會は十九日休會の下に前回に引續き露國問題に關し凝議をなしたるが先づ前回決定の佛國駐劄露國大使ミユーラー氏[illegible]者を以て委員會を組織しリヴォフ公を代表者[illegible]出席せしめんこ[illegible]

對外貸出金額

[illegible]一、萬那日本一億七百萬那露國八千五百萬那亞剌然丁四千七百萬那支那二千五百萬那希臘三千九百萬那チエック[illegible]五十六百萬那利付第一回自由公債にして四分利付公債に乘替をしたるもの五億六千八百萬那中昨年十一月九日の乘換へ[illegible]利付の儀公債は所有せらるゝもの八億六千六百九十九萬餘那あり[illegible]

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 / 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

醫學博士酒井和太郎氏研究の結晶精粹たる

◎ミツワ人參錠

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて、漢藥人參を實驗的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、强壯等の諸作を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎こし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び是等の疾患に隨伴する諸症狀、卽ち精神興奮、精神調異常、意志薄弱、記憶力減退、思考力判斷力、不眠、不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癩腫、梅毒等の慢性病に因る貧血並に榮養不良を回復して、體力を增進し、又精力減退卽ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

適應諸症

一、頭が重く或は頭内が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて逆上となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、疲れて凶い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、精神の憂々する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經過敏に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰痿や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働をして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人

(現品縮寫圖)

◎ミツワ石鹸 (みつわせつけん)

純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に溷濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フェノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす

皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず

一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用こして衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり

種類	
大形	金貳拾五錢
中形	金拾八錢
小形	金拾貳錢
極小形	金七錢
水石鹸	金參拾五錢 金五拾錢

內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人參葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 登錄商標

本舖 東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店

電信略號◎ミヤ…… 振替口座東京七一〇 營業部電話浪花三〇四四八・四四九・四五〇番

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四〇番

内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す

醫學博士 古城憲治 金澤醫學士 打田義芳

花柳病外科專門 ●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱 ヒステリー 606 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城一二九一

懷中電燈

◎婦人病特藥◎ 向寒の折柄婦人家病の常備藥なり

主効 一、神經衰弱 一、貧血症 一、腎臟病 一、肝臟病 一、胃腸病 一、生殖器病 一、リウマチス 一、ヒステリー 一、ヒポコンデ 一、老衰 一、精力減退

淫羊藿エキス 通稱三枝九葉草エキス 人參に優る强壯劑

定價 [illegible] 送料 市內 [illegible] 市外 [illegible]

市内ハ御一報次第配達仕候

全國一手販賣 京城太平通 京城日報代理部 振替京城[illegible] 電話[illegible]

京城特約店 山岸天佑堂 京城特約店 北島支店

質 新規開業 倉庫完全 京城若草町三十八番地(金井眼科醫院裏)(池上病院前) 麻生質店

りん病 急性慢性を問はず 博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり 藥價一圓四十錢、二圓七十錢四圓 送料不要

ルーデサック特製品 A十個五十錢 廿個九十錢 B十個七十錢 廿個一圓三十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 一月時帶一個七十錢 郵券(二錢)代用一割增 廿個以上送料不要 京城黃金町三 振替京城三七二二 山田文殊堂藥房